医療費の動向　令和3年度4月～9月
＜概算医療費＞

○　令和3年度9月の概算医療費について、対前年同月比は2.9%、対前々年同月比は2.6%とともにプラスとなっている。

○　診療種類別では、対前年同月比、対前々年同月比ともに、入院以外の診療種類はプラスとなっている。

（参考）診療種類別 医療費の伸び率（対前年同期比）（%）

	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総計	2.4	-3.2	5.5	10.6	11.5	5.4	2.6	5.0	2.9
入院	2.0	-3.4	1.1	6.5	8.7	3.9	0.8	1.7	-0.1
入院外	2.0	-4.4	10.0	18.4	16.1	7.7	5.0	9.1	6.0
歯科	1.9	-0.8	9.8	25.4	21.8	5.1	2.1	3.2	1.1
調剤	3.6	-2.7	4.6	0.5	5.3	3.6	1.5	4.6	3.8

（参考）診療種類別 医療費の伸び率（対前々年同期比）（%）

	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総計	3.2	-1.0	4.3	0.8	-1.8	2.9	-2.1	1.2	2.6
入院	4.0	-1.5	1.8	-0.4	-2.2	-0.2	-3.5	-1.3	-0.3
入院外	3.1	-2.4	5.4	2.2	-1.8	4.8	-1.1	4.0	4.9
歯科	3.9	1.1	6.6	6.2	2.5	4.9	-1.9	4.1	6.2
調剤	0.4	0.9	5.2	-2.6	-3.9	3.7	-2.2	-0.9	2.0

医療費の動向　令和3年度4月～9月　①総計

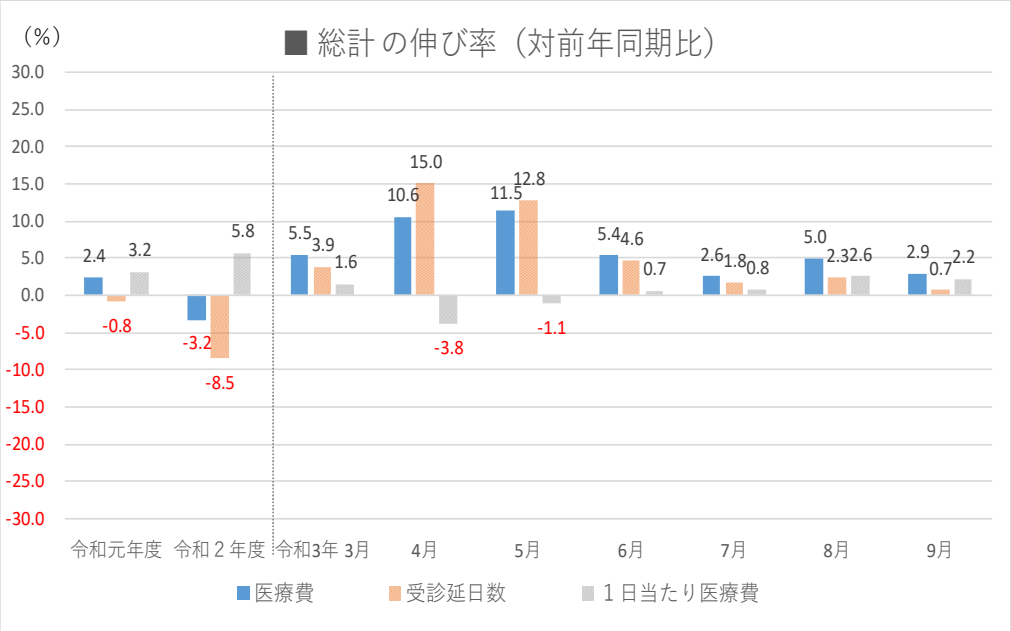
○　令和3年度9月の概算医療費は、対前年同月比は2.9%、対前々年同月比は2.6%と、ともにプラスとなっている。
○　受診延日数については、対前年同月比は0.7%と増加している一方で、対前々年同月比は▲4.9%と減少傾向が継続。
○　１日当たり医療費は、対前々年同月比で見ると4月以降7～8%程度で推移。

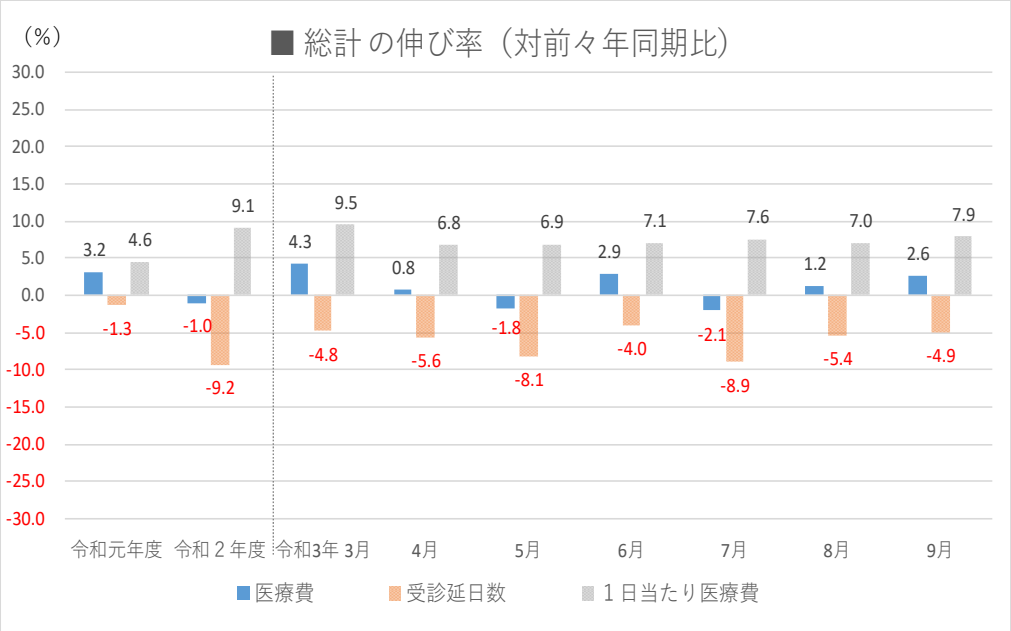
■ 総計 の伸び率（対前年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度	令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
医療費	2.4	-3.2	5.5	10.6	11.5	5.4	2.6	5.0	2.9
受診延日数	-0.8	-8.5	3.9	15.0	12.8	4.6	1.8	2.3	0.7
１日当たり医療費	3.2	5.8	1.6	-3.8	-1.1	0.7	0.8	2.6	2.2

■ 総計 の伸び率（対前々年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度	令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
医療費	3.2	-1.0	4.3	0.8	-1.8	2.9	-2.1	1.2	2.6
受診延日数	-1.3	-9.2	-4.8	-5.6	-8.1	-4.0	-8.9	-5.4	-4.9
１日当たり医療費	4.6	9.1	9.5	6.8	6.9	7.1	7.6	7.0	7.9





医療費の動向　令和3年度4月～9月　②-1 診療種別（入院）

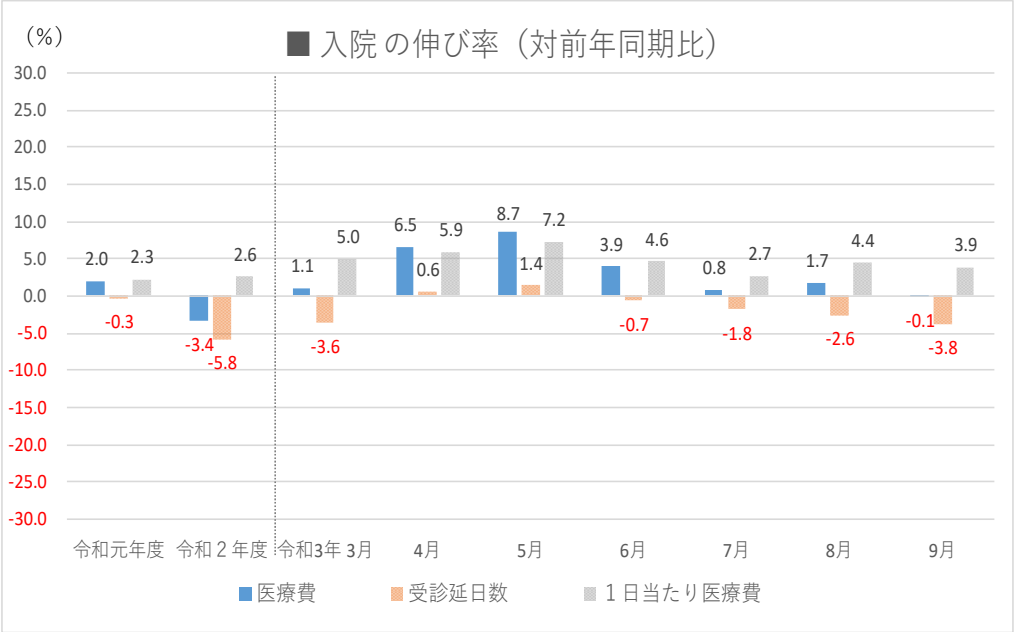
○　入院医療費について、9月は対前年同月比は▲0.1%となり、対前々年同月比では▲0.3%と減少傾向が継続。
○　受診延日数は、対前年同月比は▲3.8%、対前々年同月比は▲7.9%とともに減少。
○　１日当たり医療費は、対前年同月比は3.9%、対前々年同月比は8.3%とともにプラス。

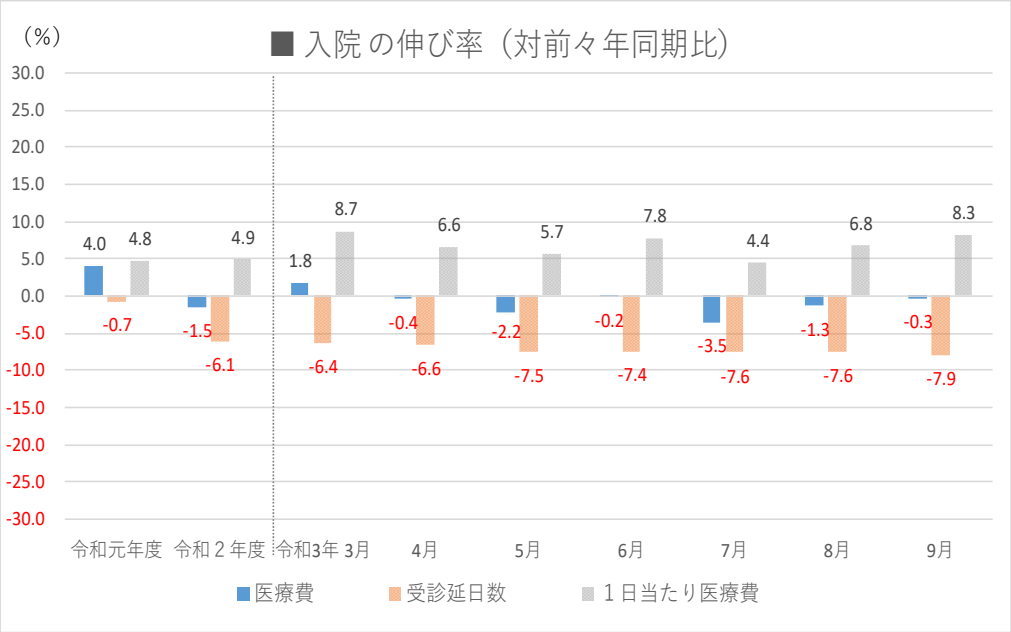
■ 入院 の伸び率（対前年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
医療費	2.0	-3.4	1.1	6.5	8.7	3.9	0.8	1.7	-0.1
受診延日数	-0.3	-5.8	-3.6	0.6	1.4	-0.7	-1.8	-2.6	-3.8
１日当たり医療費	2.3	2.6	5.0	5.9	7.2	4.6	2.7	4.4	3.9

■ 入院 の伸び率（対前々年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
医療費	4.0	-1.5	1.8	-0.4	-2.2	-0.2	-3.5	-1.3	-0.3
受診延日数	-0.7	-6.1	-6.4	-6.6	-7.5	-7.4	-7.6	-7.6	-7.9
１日当たり医療費	4.8	4.9	8.7	6.6	5.7	7.8	4.4	6.8	8.3





医療費の動向　令和3年度4月～9月　②-2 診療種別（入院外）

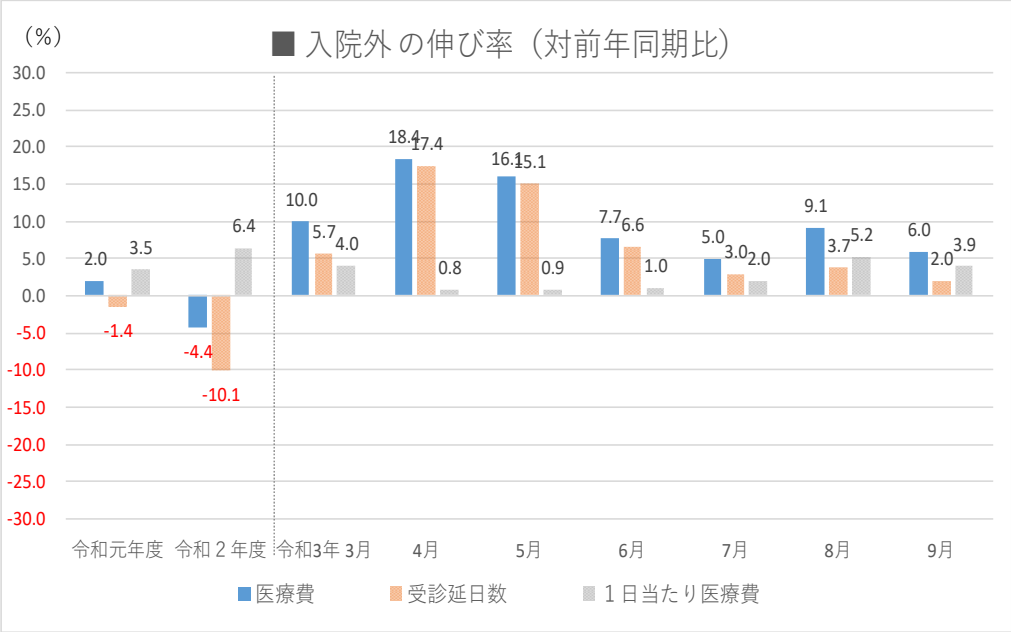
○　入院外医療費について9月は、 対前年同月比は6.0%、対前々年同月比は4.9%とともにプラス。
○　受診延日数については、対前年同月比は2.0%と増加するも、対前々年同月比では▲5.3%と減少傾向が続いている。
○　１日当たり医療費は、対前年同月比は3.9%となるが、対前々年同月比では10.7%と大きく増加。

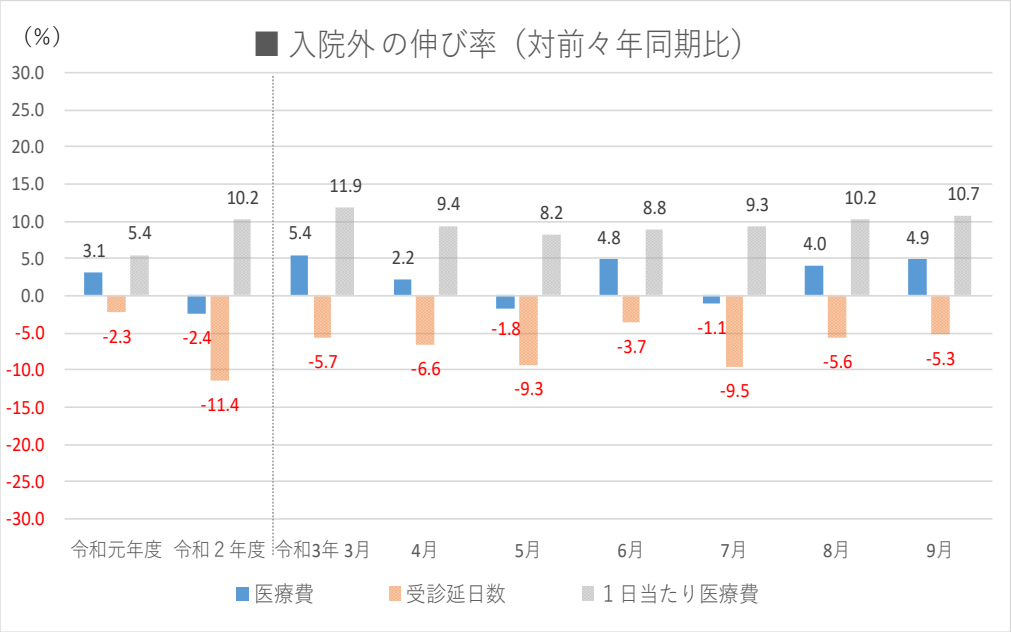
■ 入院外 の伸び率（対前年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
医療費	2.0	-4.4	10.0	18.4	16.1	7.7	5.0	9.1	6.0
受診延日数	-1.4	-10.1	5.7	17.4	15.1	6.6	3.0	3.7	2.0
１日当たり医療費	3.5	6.4	4.0	0.8	0.9	1.0	2.0	5.2	3.9

■ 入院外 の伸び率（対前々年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
医療費	3.1	-2.4	5.4	2.2	-1.8	4.8	-1.1	4.0	4.9
受診延日数	-2.3	-11.4	-5.7	-6.6	-9.3	-3.7	-9.5	-5.6	-5.3
１日当たり医療費	5.4	10.2	11.9	9.4	8.2	8.8	9.3	10.2	10.7





医療費の動向　令和3年度4月～9月　②-3 診療種別（歯科）

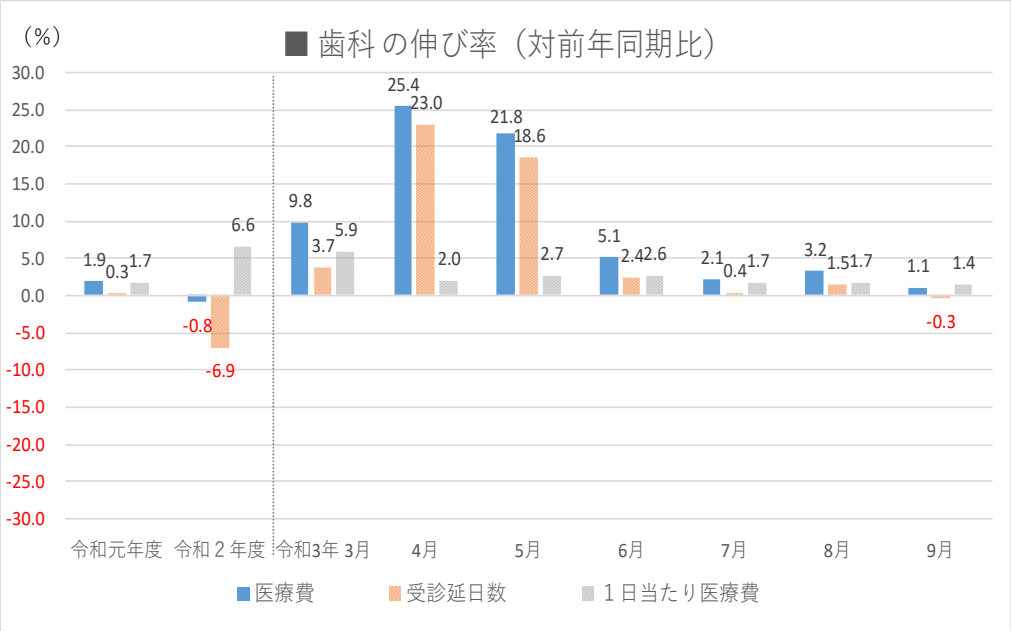
○　歯科医療費について、9月は 対前年同月比は1.1%、対前々年同月比は6.2%とともにプラスとなった。
○　受診延日数については、対前年同月比は▲0.3%と減少に転じ、対前々年同月比では▲2.9%と減少傾向が続いている。
○　１日当たり医療費は、対前々年同月比では9～10%で推移。

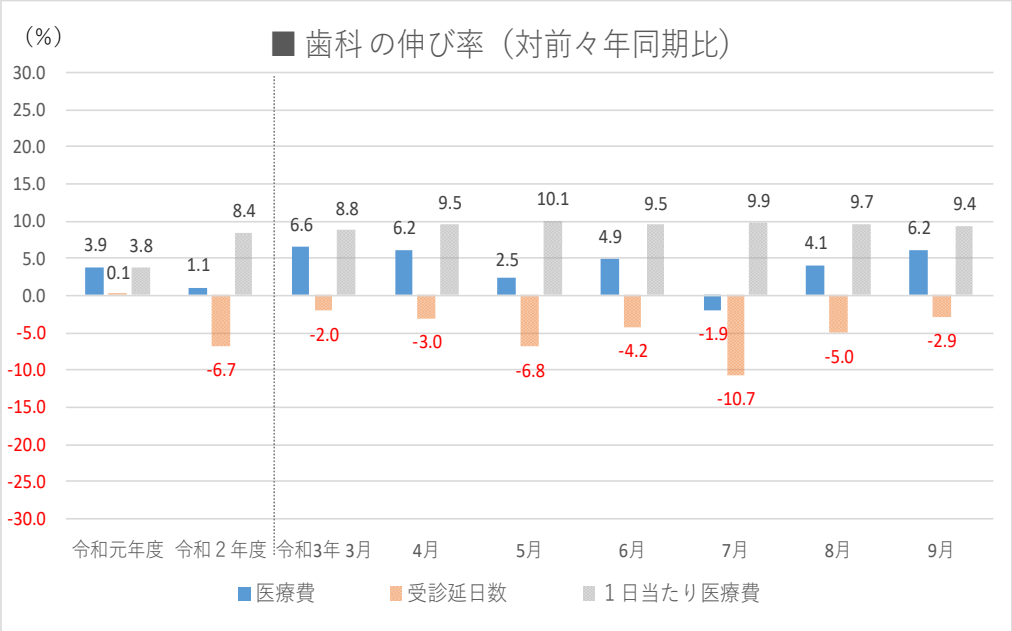
■ 歯科 の伸び率（対前年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度	令和3年度						
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
医療費	1.9	-0.8	9.8	25.4	21.8	5.1	2.1	3.2	1.1
受診延日数	0.3	-6.9	3.7	23.0	18.6	2.4	0.4	1.5	-0.3
１日当たり医療費	1.7	6.6	5.9	2.0	2.7	2.6	1.7	1.7	1.4

■ 歯科 の伸び率（対前々年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度	令和3年度						
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
医療費	3.9	1.1	6.6	6.2	2.5	4.9	-1.9	4.1	6.2
受診延日数	0.1	-6.7	-2.0	-3.0	-6.8	-4.2	-10.7	-5.0	-2.9
１日当たり医療費	3.8	8.4	8.8	9.5	10.1	9.5	9.9	9.7	9.4





医療費の動向　令和3年度4月～9月　②-4 診療種別（調剤）

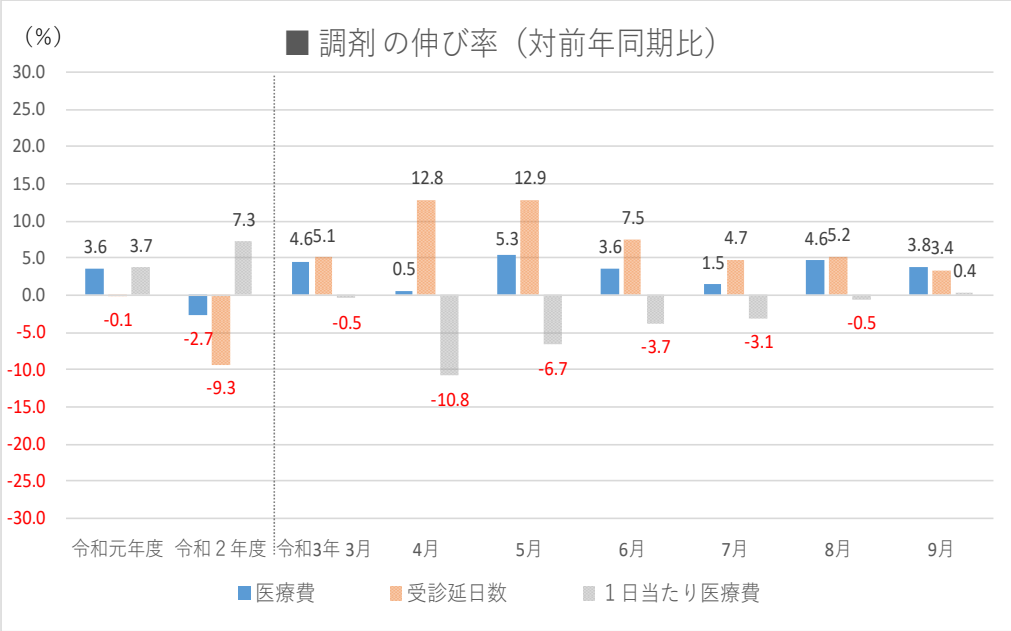
○　調剤医療費について、9月は 対前年同月比は3.8%、対前々年同月比は2.0%とプラスとなっている。
○　受診延日数については、対前年同月比は3.4%の増加となり、対前々年同月比は▲3.5%と減少傾向は継続している。
○　１日当たり医療費は、対前々年同月比では5.7%となり、前月より増加幅は大きくなった。

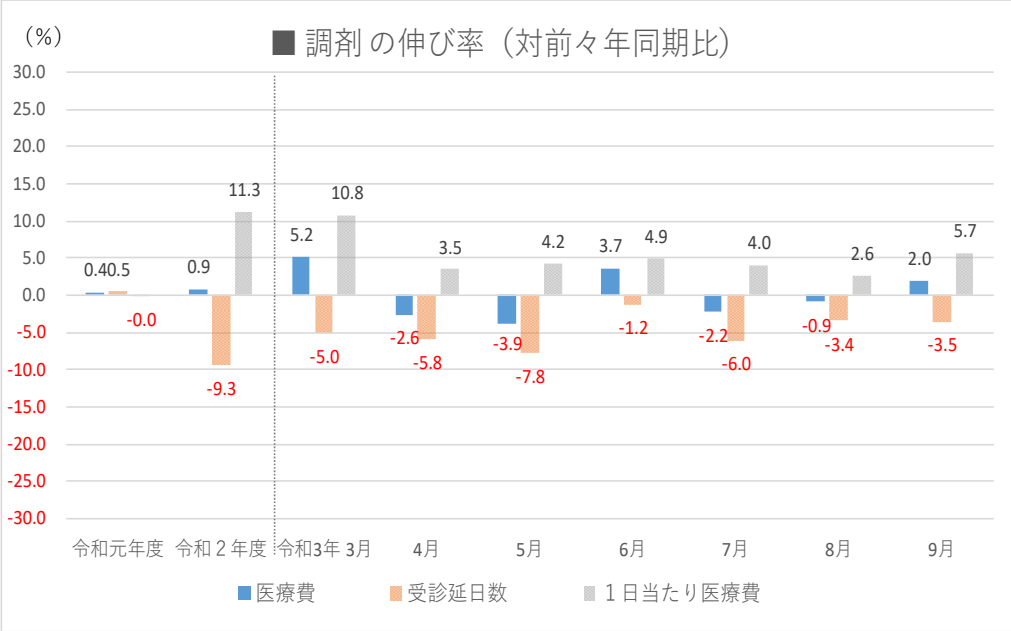
■ 調剤 の伸び率（対前年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
医療費	3.6	-2.7	4.6	0.5	5.3	3.6	1.5	4.6	3.8
受診延日数　※	-0.1	-9.3	5.1	12.8	12.9	7.5	4.7	5.2	3.4
１日当たり医療費	3.7	7.3	-0.5	-10.8	-6.7	-3.7	-3.1	-0.5	0.4

■ 調剤 の伸び率（対前々年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
医療費	0.4	0.9	5.2	-2.6	-3.9	3.7	-2.2	-0.9	2.0
受診延日数　※	0.5	-9.3	-5.0	-5.8	-7.8	-1.2	-6.0	-3.4	-3.5
１日当たり医療費	-0.0	11.3	10.8	3.5	4.2	4.9	4.0	2.6	5.7





※受診延日数は「処方せん枚数（受付回数）」を集計したもの

医療費の動向　令和3年度4月～9月　③-1 年齢階層別（75歳以上）

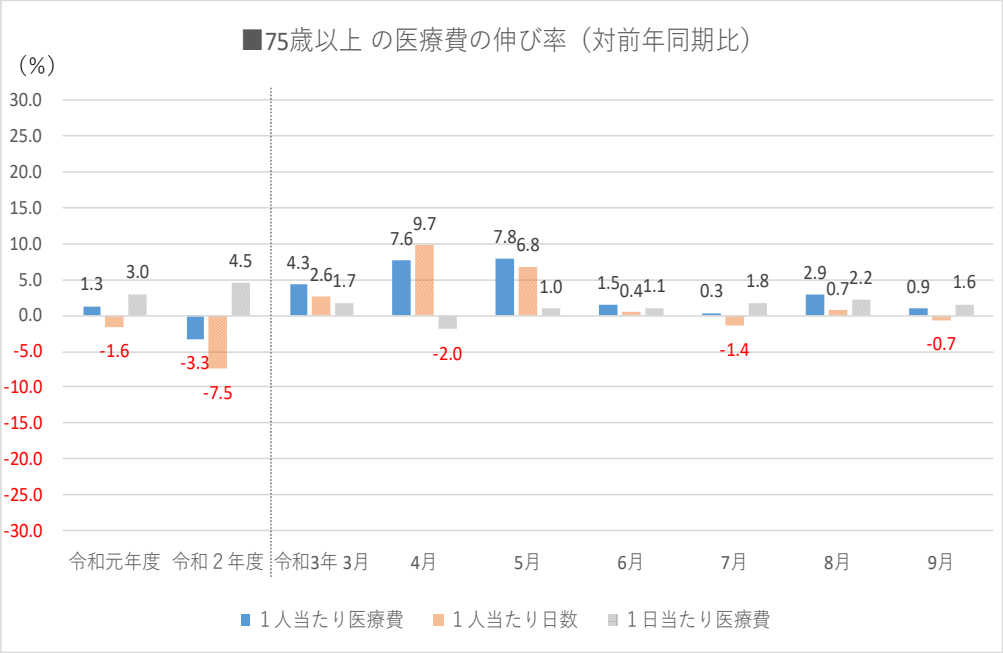
○　75歳以上の１人当たり医療費について、9月は 対前年同月比は0.9%となり、対前々年同月比は▲0.1%と減少傾向は継続。
○　１人当たり日数については、対前年同月比は▲0.7%、対前々年同月比は▲6.0%のマイナス。
○　１日当たり医療費は、対前々年同月比では5～7%程度で推移。

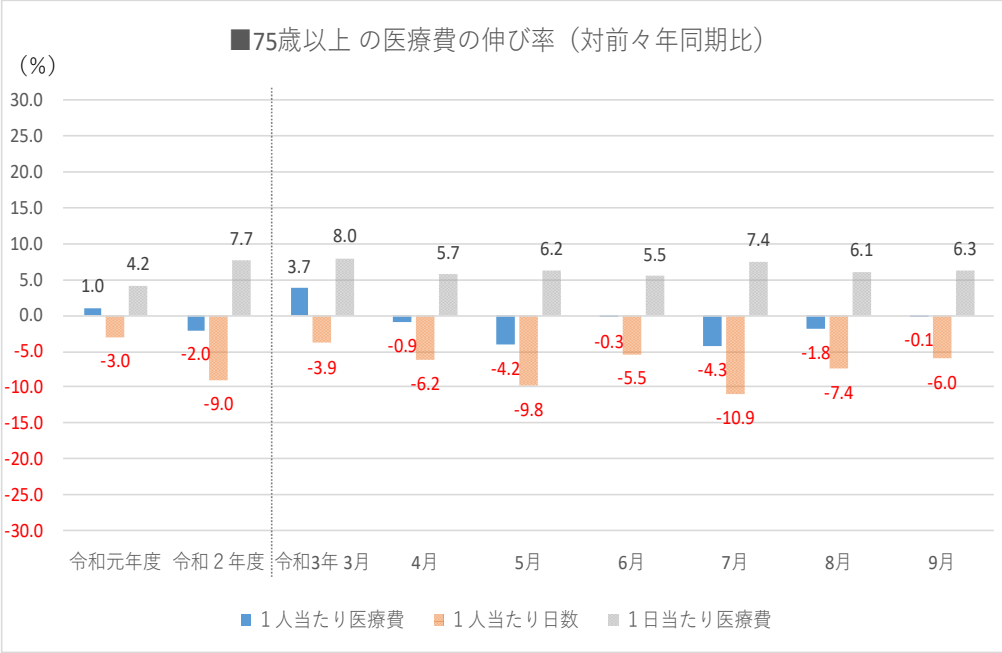
■75歳以上 の医療費の伸び率（対前年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
１人当たり医療費	1.3	-3.3	4.3	7.6	7.8	1.5	0.3	2.9	0.9
１人当たり日数	-1.6	-7.5	2.6	9.7	6.8	0.4	-1.4	0.7	-0.7
１日当たり医療費	3.0	4.5	1.7	-2.0	1.0	1.1	1.8	2.2	1.6

■75歳以上 の医療費の伸び率（対前々年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
１人当たり医療費	1.0	-2.0	3.7	-0.9	-4.2	-0.3	-4.3	-1.8	-0.1
１人当たり日数	-3.0	-9.0	-3.9	-6.2	-9.8	-5.5	-10.9	-7.4	-6.0
１日当たり医療費	4.2	7.7	8.0	5.7	6.2	5.5	7.4	6.1	6.3





医療費の動向　令和3年度4月～9月　③-2 年齢階層別（75歳未満）

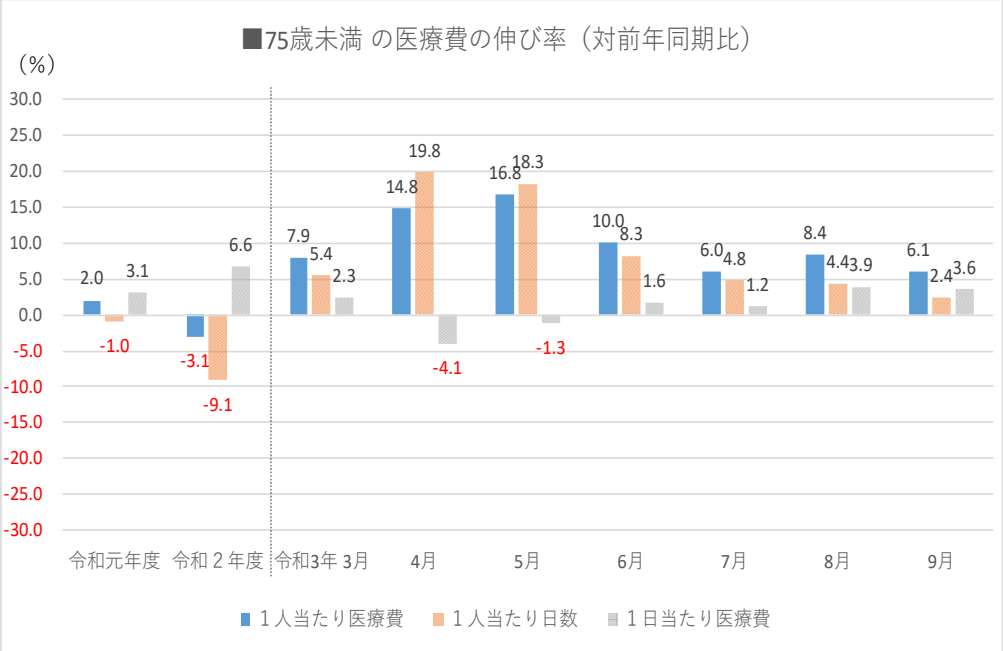
○　75歳未満の１人当たり医療費について、9月も対前年同月比、対前々年同月比は、ともにプラスとなり、75歳以上よりも大きくなっている。
○　１人当たり日数について、対前年同月比は2.4%のプラスも、対前々年同月比は▲3.4%の減少となった。
○　１日当たり医療費は、対前々年同月比では8～10%程度で推移しており、75歳以上に比べ増加幅が大きい。

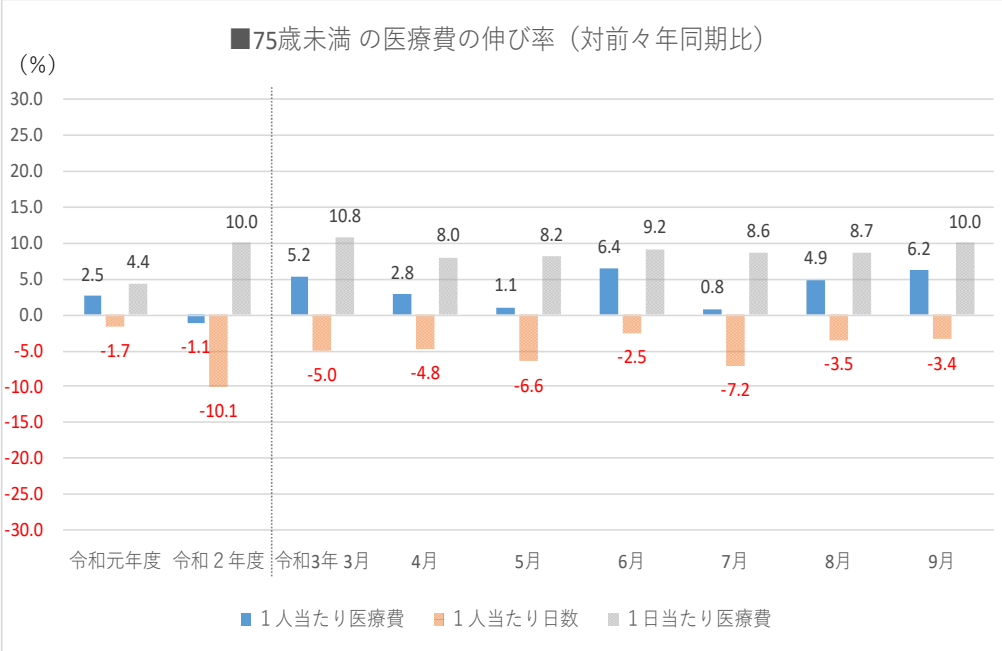
■75歳未満 の医療費の伸び率（対前年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
１人当たり医療費	2.0	-3.1	7.9	14.8	16.8	10.0	6.0	8.4	6.1
１人当たり日数	-1.0	-9.1	5.4	19.8	18.3	8.3	4.8	4.4	2.4
１日当たり医療費	3.1	6.6	2.3	-4.1	-1.3	1.6	1.2	3.9	3.6

■75歳未満 の医療費の伸び率（対前々年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
１人当たり医療費	2.5	-1.1	5.2	2.8	1.1	6.4	0.8	4.9	6.2
１人当たり日数	-1.7	-10.1	-5.0	-4.8	-6.6	-2.5	-7.2	-3.5	-3.4
１日当たり医療費	4.4	10.0	10.8	8.0	8.2	9.2	8.6	8.7	10.0





医療費の動向　令和3年度4月～9月　③-3 年齢階層別（75歳未満（未就学者除く））

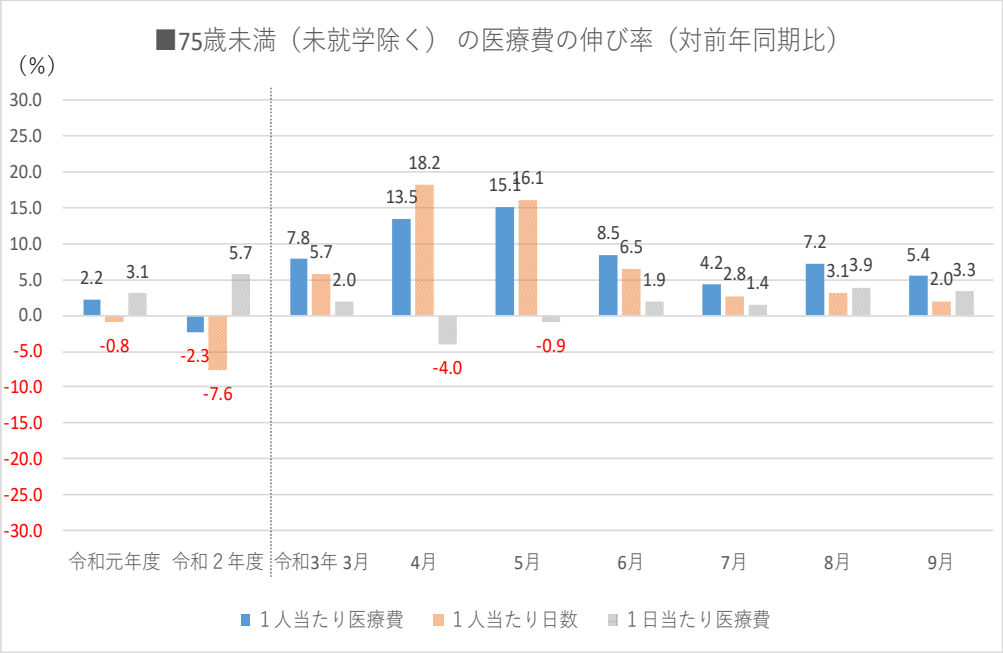
○　未就学者を除くと、１人当たり医療費の対前年同月比は5.4%、対前々年同月比は6.8%となる。
○　１人当たり日数については、対前年同月比は2.0%とプラスも、対前々年同月比は▲1.6%のマイナスとなる。
○　１日当たり医療費は、対前々年同月比では7～9%で増加幅は若干小さくなる。

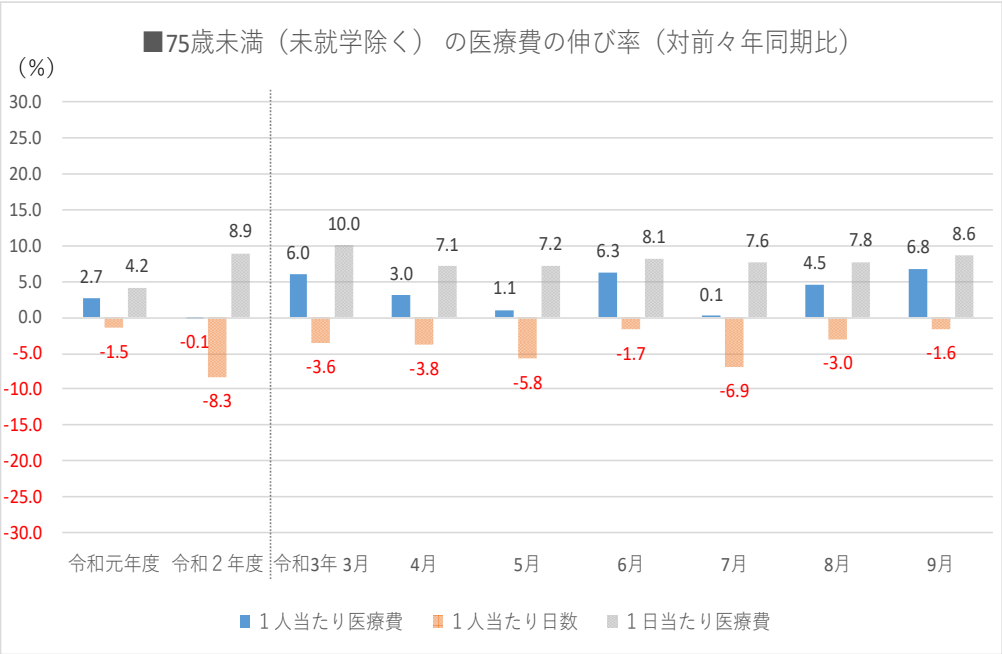
■75歳未満（未就学除く）　の医療費の伸び率（対前年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度	令和3年度						
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
１人当たり医療費	2.2	-2.3	7.8	13.5	15.1	8.5	4.2	7.2	5.4
１人当たり日数	-0.8	-7.6	5.7	18.2	16.1	6.5	2.8	3.1	2.0
１日当たり医療費	3.1	5.7	2.0	-4.0	-0.9	1.9	1.4	3.9	3.3

■75歳未満（未就学除く）　の医療費の伸び率（対前々年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度	令和3年度						
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
１人当たり医療費	2.7	-0.1	6.0	3.0	1.1	6.3	0.1	4.5	6.8
１人当たり日数	-1.5	-8.3	-3.6	-3.8	-5.8	-1.7	-6.9	-3.0	-1.6
１日当たり医療費	4.2	8.9	10.0	7.1	7.2	8.1	7.6	7.8	8.6





医療費の動向　令和3年度4月～9月　③-4 年齢階層別（未就学者）

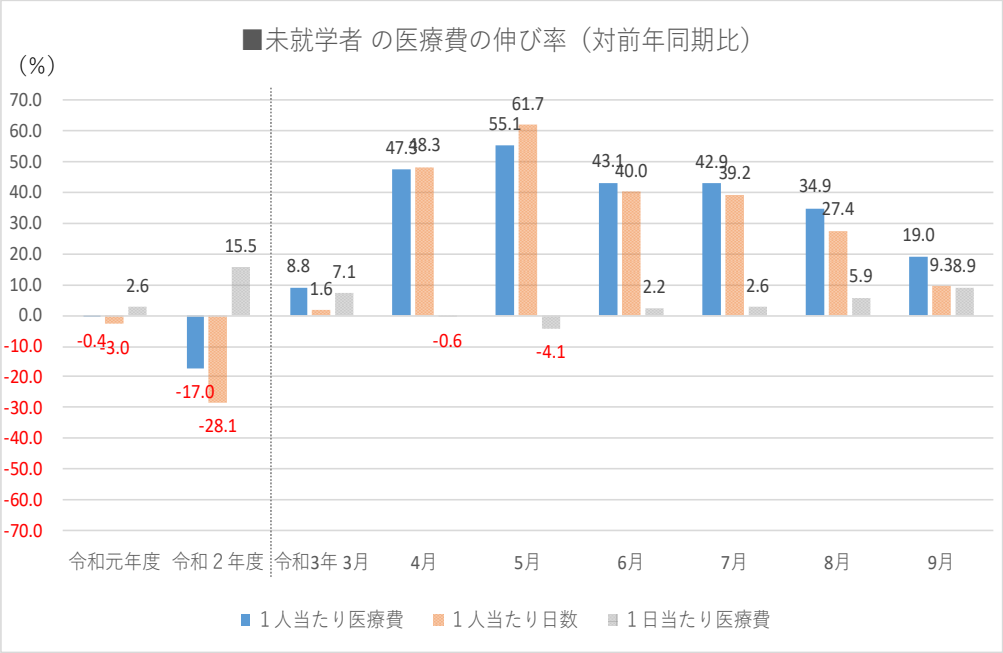
○　未就学者の9月の１人当たり医療費は、対前年同月比で19.0%と大きな増加なるも、対前々年同月比では▲4.8%の減少となる。
○　１人当たり日数について、対前年同月比は9.3%と増加、対前々年同月比では▲24.8%と大きく減少している。
○　１日当たり医療費は、対前々年同月比では26.7%と大きく増加している。

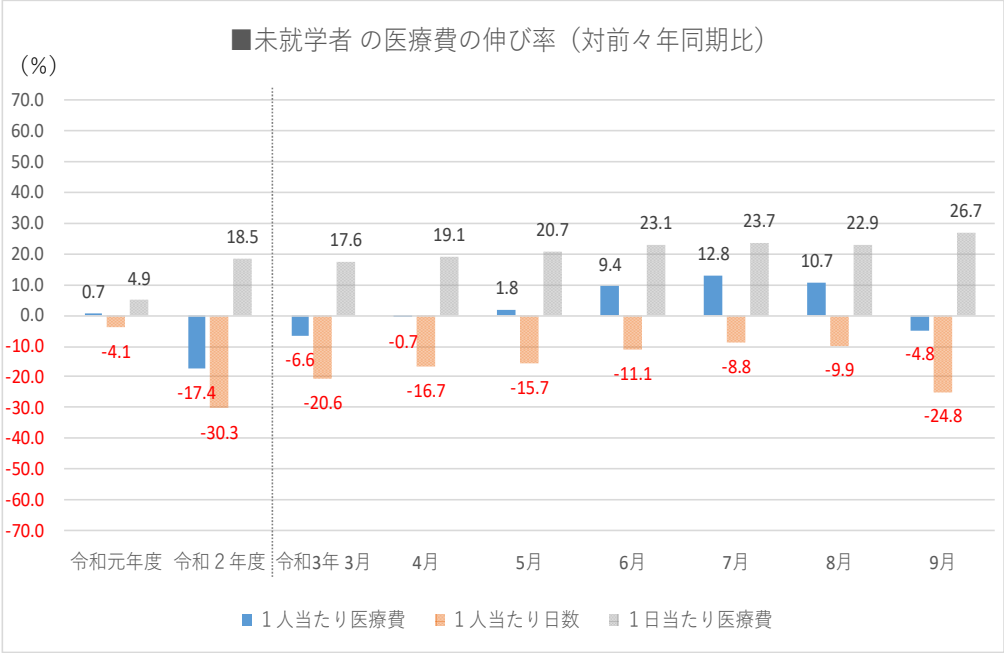
■未就学者 の医療費の伸び率（対前年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度	令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
１人当たり医療費	-0.4	-17.0	8.8	47.3	55.1	43.1	42.9	34.9	19.0
１人当たり日数	-3.0	-28.1	1.6	48.3	61.7	40.0	39.2	27.4	9.3
１日当たり医療費	2.6	15.5	7.1	-0.6	-4.1	2.2	2.6	5.9	8.9

■未就学者 の医療費の伸び率（対前々年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度	令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
１人当たり医療費	0.7	-17.4	-6.6	-0.7	1.8	9.4	12.8	10.7	-4.8
１人当たり日数	-4.1	-30.3	-20.6	-16.7	-15.7	-11.1	-8.8	-9.9	-24.8
１日当たり医療費	4.9	18.5	17.6	19.1	20.7	23.1	23.7	22.9	26.7





医療費の動向　令和3年度4月～9月　④主たる診療科別

○　主たる診療科別に入院外医療費の伸び率を見ると、9月は対前年同月比で小児科が32.5%、耳鼻咽喉科が12.1%と引き続き大きく増加するも、対前々年同月比では小児科は▲2.7%、耳鼻咽喉科は▲8.3%の減少となる。
○　受診延日数について、小児科は、対前年同月比は大きく増加するも、対前々年同月比では減少傾向が継続。
○　１日当たり医療費は、対前年同月比、対前々年同月比ともに、多くの診療科でプラスとなり、対前々年同月比では小児科が30%を超える増加。

■ 伸び率（対前年同期比）　（単位：%）

		令和元年度	令和２年度		令和３年度					
				3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院外医療費	医科診療所	0.8	▲ 5.4	10.0	20.5	16.8	7.5	5.8	8.0	5.7
	内科	0.4	▲ 4.3	8.0	14.4	13.7	6.1	5.3	9.7	6.6
	小児科	0.1	▲ 22.2	24.4	69.2	95.8	67.7	63.7	54.7	32.5
	外科	▲ 1.3	▲ 12.0	▲ 1.8	6.3	2.2	▲ 5.5	▲ 5.1	▲ 2.4	▲ 2.5
	整形外科	1.8	▲ 3.4	12.8	27.4	15.6	5.5	2.8	3.0	2.7
	皮膚科	1.9	▲ 0.8	5.1	22.5	3.7	▲ 2.2	1.9	▲ 5.0	1.0
	産婦人科	1.4	0.0	13.6	26.7	19.6	9.6	5.3	4.0	3.1
	眼科	2.3	▲ 3.3	14.5	29.5	24.2	4.5	▲ 1.5	0.8	1.6
	耳鼻咽喉科	▲ 2.7	▲ 19.7	17.9	49.3	39.2	26.2	16.1	20.2	12.1
	その他	2.3	▲ 1.5	9.6	16.5	12.0	5.3	3.5	5.7	4.3
受診延日数	医科診療所	▲ 1.3	▲ 10.2	5.9	18.6	15.5	7.0	3.8	3.2	2.0
	内科	▲ 1.7	▲ 10.1	3.3	10.6	13.0	6.9	4.0	5.7	3.1
	小児科	▲ 2.2	▲ 31.5	6.2	44.4	73.5	46.8	39.5	30.8	12.7
	外科	▲ 4.6	▲ 15.4	▲ 4.7	3.4	▲ 0.9	▲ 6.7	▲ 7.6	▲ 7.8	▲ 6.4
	整形外科	▲ 1.0	▲ 6.7	11.6	29.6	17.4	6.7	1.6	1.6	1.6
	皮膚科	1.2	▲ 0.9	3.2	18.0	1.4	▲ 3.8	▲ 0.4	▲ 7.4	▲ 1.4
	産婦人科	0.8	▲ 3.9	9.0	22.0	17.2	8.9	4.3	2.5	1.8
	眼科	▲ 1.3	▲ 7.3	8.4	29.0	22.0	2.1	▲ 2.8	▲ 5.1	▲ 2.6
	耳鼻咽喉科	▲ 4.3	▲ 24.4	6.8	29.8	27.5	19.9	8.3	10.2	4.4
	その他	1.4	▲ 3.0	8.0	14.4	11.6	6.6	4.5	4.5	3.4
1日当たり医療費	医科診療所	2.1	5.3	3.9	1.6	1.1	0.5	1.9	4.7	3.6
	内科	2.1	6.4	4.5	3.4	0.6	▲ 0.7	1.2	3.8	3.4
	小児科	2.3	13.5	17.2	17.2	12.8	14.3	17.4	18.2	17.6
	外科	3.5	4.0	3.0	2.8	3.1	1.3	2.6	5.8	4.2
	整形外科	2.8	3.5	1.1	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 1.1	1.1	1.4	1.1
	皮膚科	0.6	0.1	1.8	3.8	2.2	1.7	2.3	2.6	2.4
	産婦人科	0.6	4.1	4.2	3.9	2.1	0.7	0.9	1.5	1.3
	眼科	3.6	4.3	5.6	0.4	1.8	2.4	1.3	6.3	4.3
	耳鼻咽喉科	1.7	6.3	10.3	15.0	9.2	5.3	7.3	9.1	7.4
	その他	0.8	1.6	1.5	1.9	0.3	▲ 1.3	▲ 0.9	1.1	0.9

■ 伸び率（対前々年同期比）　（単位：%）

		令和元年度	令和２年度		令和３年度					
				3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院外医療費	医科診療所	1.1	▲ 4.6	1.2	0.9	▲ 1.5	3.0	▲ 1.4	3.5	2.8
	内科	0.3	▲ 4.0	2.0	1.1	▲ 0.1	3.6	0.2	5.7	5.1
	小児科	▲ 1.0	▲ 22.2	▲ 3.4	4.3	7.9	14.2	19.9	20.9	▲ 2.7
	外科	▲ 5.2	▲ 13.1	▲ 12.3	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 12.8	▲ 16.8	▲ 13.6	▲ 12.7
	整形外科	2.2	▲ 1.7	5.7	4.1	▲ 1.6	3.8	▲ 4.1	▲ 0.2	2.0
	皮膚科	2.4	1.0	2.4	3.9	▲ 2.5	3.9	▲ 3.6	▲ 2.5	1.5
	産婦人科	1.7	1.4	8.6	7.9	5.5	9.6	2.5	5.7	6.0
	眼科	5.3	▲ 1.1	5.7	3.9	▲ 2.4	2.4	▲ 6.4	1.2	1.6
	耳鼻咽喉科	▲ 1.2	▲ 21.8	▲ 18.5	▲ 14.3	▲ 16.6	▲ 9.8	▲ 9.3	▲ 0.4	▲ 8.3
	その他	3.6	0.8	6.5	3.6	0.8	5.8	0.0	3.7	6.6
受診延日数	医科診療所	▲ 2.0	▲ 11.3	▲ 6.8	▲ 6.3	▲ 8.0	▲ 3.7	▲ 9.0	▲ 5.1	▲ 5.6
	内科	▲ 2.5	▲ 11.6	▲ 6.3	▲ 6.7	▲ 7.3	▲ 2.6	▲ 7.4	▲ 3.0	▲ 3.5
	小児科	▲ 4.4	▲ 33.0	▲ 21.1	▲ 17.4	▲ 15.1	▲ 12.0	▲ 9.7	▲ 8.8	▲ 26.9
	外科	▲ 9.9	▲ 19.3	▲ 18.5	▲ 18.6	▲ 21.0	▲ 17.5	▲ 22.9	▲ 20.4	▲ 18.9
	整形外科	▲ 1.6	▲ 7.6	0.5	0.2	▲ 5.0	▲ 0.6	▲ 10.4	▲ 4.9	▲ 2.6
	皮膚科	1.7	0.3	0.7	1.2	▲ 3.7	1.6	▲ 6.1	▲ 5.1	▲ 1.0
	産婦人科	▲ 0.1	▲ 3.1	2.8	2.6	1.0	4.3	▲ 2.7	▲ 0.3	0.7
	眼科	▲ 1.1	▲ 8.5	▲ 5.1	▲ 4.2	▲ 7.3	▲ 5.5	▲ 9.5	▲ 8.2	▲ 8.1
	耳鼻咽喉科	▲ 4.3	▲ 27.7	▲ 26.0	▲ 25.1	▲ 25.4	▲ 20.6	▲ 20.6	▲ 13.6	▲ 19.8
	その他	2.4	▲ 1.6	3.5	1.6	▲ 0.1	4.7	▲ 1.3	1.2	3.9
1日当たり医療費	医科診療所	3.1	7.6	8.6	7.7	7.1	6.9	8.3	9.1	8.9
	内科	2.9	8.7	9.0	8.4	7.8	6.3	8.2	9.0	8.9
	小児科	3.6	16.1	22.4	26.3	27.1	29.8	32.8	32.6	33.0
	外科	5.2	7.6	7.6	6.5	7.1	5.7	7.9	8.5	7.7
	整形外科	3.8	6.4	5.2	3.9	3.5	4.4	7.0	4.9	4.8
	皮膚科	0.6	0.7	1.7	2.6	1.3	2.2	2.6	2.7	2.5
	産婦人科	1.8	4.7	5.6	5.2	4.4	5.1	5.3	6.0	5.2
	眼科	6.5	8.1	11.5	8.5	5.3	8.4	3.5	10.1	10.5
	耳鼻咽喉科	3.3	8.1	10.1	14.3	11.9	13.6	14.2	15.3	14.3
	その他	1.2	2.4	2.9	1.9	0.9	1.0	1.3	2.5	2.6

医療費の動向　令和3年度4月～9月　⑤都道府県別

○　都道府県別に概算医療費の伸び率を見ると、対前々年同月比では、9月においては鳥取県や岩手県、長野県の伸び率が比較的大きなものとなっている。

○　データの散らばりの度合いを表す分散を見ると、対前々年同月比では8月よりも大きくなっている。

■ 都道府県別 概算医療費の対前年同期比（%）

	概算医療費								
	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全国	2.4	▲ 3.2	5.5	10.6	11.5	5.4	2.6	5.0	2.9
北海道	2.0	▲ 3.8	6.2	6.1	7.2	1.2	▲ 1.6	3.4	1.1
青森県	1.0	▲ 3.1	1.1	5.1	5.7	0.3	▲ 1.7	2.7	0.1
岩手県	1.0	▲ 2.1	3.1	3.5	5.7	0.9	▲ 0.1	3.2	2.5
宮城県	2.2	▲ 2.6	5.3	7.2	11.2	4.5	2.4	4.0	2.9
秋田県	1.3	▲ 2.7	3.1	3.4	4.8	1.1	▲ 0.7	3.4	1.2
山形県	1.2	▲ 3.8	2.6	7.5	9.9	3.5	2.8	5.6	2.2
福島県	1.3	▲ 3.9	2.0	2.8	7.2	2.6	0.5	2.2	3.0
茨城県	2.2	▲ 3.2	3.9	10.5	11.0	4.9	1.7	5.3	3.2
栃木県	2.6	▲ 2.1	6.8	8.9	10.9	6.4	3.9	5.8	3.2
群馬県	1.7	▲ 2.7	6.6	11.7	12.2	5.4	2.9	5.6	3.8
埼玉県	3.1	▲ 2.7	6.8	15.2	14.8	8.0	4.9	5.8	3.9
千葉県	2.6	▲ 2.2	7.5	14.7	16.8	7.9	5.0	4.3	3.0
東京都	2.8	▲ 4.8	7.1	20.0	19.4	9.3	4.8	6.1	4.2
神奈川県	3.0	▲ 3.1	8.4	17.5	18.2	10.2	5.1	5.7	3.2
新潟県	1.6	▲ 3.3	3.6	4.7	5.5	2.1	0.0	4.6	1.2
富山県	2.3	▲ 3.1	4.7	9.7	14.4	6.2	3.3	5.1	2.6
石川県	1.8	▲ 4.4	4.9	10.1	10.2	3.1	0.3	4.9	4.6
福井県	1.8	▲ 4.4	4.9	13.4	14.0	3.4	1.7	5.4	2.6
山梨県	1.4	▲ 2.8	7.5	10.6	10.4	6.9	2.8	6.1	1.9
長野県	2.2	▲ 2.2	5.5	6.5	8.9	4.6	0.9	4.3	3.1
岐阜県	1.4	▲ 3.5	5.0	11.4	9.6	5.7	4.4	6.6	3.7
静岡県	2.4	▲ 2.2	5.8	7.5	9.6	5.6	2.5	4.8	2.7
愛知県	2.9	▲ 2.6	7.4	12.4	12.1	6.4	4.5	7.0	4.7
三重県	2.3	▲ 3.5	4.5	7.1	8.3	4.3	2.1	4.8	1.1

	概算医療費								
	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
滋賀県	2.7	▲ 3.6	5.7	6.9	11.2	7.4	3.4	6.7	4.2
京都府	2.9	▲ 3.6	5.3	10.1	12.4	6.4	3.9	5.0	1.8
大阪府	2.9	▲ 3.3	5.7	10.3	10.9	5.2	1.3	4.3	2.5
兵庫県	2.3	▲ 3.7	5.6	10.8	12.0	5.0	2.1	4.8	2.8
奈良県	3.0	▲ 3.2	4.8	8.2	11.5	5.7	4.3	4.3	2.9
和歌山県	2.8	▲ 3.1	4.6	7.5	7.4	3.6	1.7	4.0	2.6
鳥取県	1.6	▲ 2.0	4.0	5.0	5.6	2.6	1.0	5.1	4.0
島根県	2.1	▲ 2.7	3.2	3.8	7.9	2.3	1.1	4.3	1.6
岡山県	2.4	▲ 3.2	4.0	6.0	7.4	2.8	0.6	3.8	2.8
広島県	2.0	▲ 3.0	4.4	7.1	8.8	2.7	1.2	3.3	2.0
山口県	1.1	▲ 2.8	3.9	5.0	7.2	2.7	1.2	1.4	2.8
徳島県	2.0	▲ 2.0	2.3	1.6	4.6	0.4	0.6	3.6	3.0
香川県	2.1	▲ 3.4	3.3	6.8	10.4	4.3	2.5	5.9	2.9
愛媛県	2.5	▲ 3.4	2.8	5.1	7.0	3.7	0.9	3.6	▲ 0.2
高知県	0.7	▲ 2.4	4.7	5.4	5.9	1.7	0.1	2.9	▲ 0.4
福岡県	2.2	▲ 3.7	3.8	12.4	13.1	6.3	3.5	6.7	4.6
佐賀県	1.6	▲ 2.0	4.3	5.4	5.9	2.6	0.5	3.6	2.3
長崎県	1.1	▲ 3.0	2.9	3.9	2.8	0.9	0.1	3.6	1.3
熊本県	1.9	▲ 2.3	5.3	7.2	7.0	4.2	2.0	4.3	2.6
大分県	1.8	▲ 3.0	4.6	8.3	5.5	1.6	1.2	8.0	▲ 1.1
宮崎県	1.9	▲ 3.0	3.3	5.3	4.1	1.0	0.4	5.4	3.0
鹿児島県	2.3	▲ 2.2	2.5	4.2	3.2	1.3	1.3	3.4	1.9
沖縄県	3.2	▲ 3.9	2.5	10.1	9.8	0.1	▲ 1.3	3.5	3.1
最大：	3.2	▲ 2.0	8.4	20.0	19.4	10.2	5.1	8.0	4.7
	沖縄県	徳島県	神奈川県	東京都	東京都	神奈川県	神奈川県	大分県	愛知県
最小：	0.7	▲ 4.8	1.1	1.6	2.8	0.1	▲ 1.7	1.4	▲ 1.1
	高知県	東京都	青森県	徳島県	長崎県	沖縄県	青森県	山口県	大分県
分散※：	0.4	0.5	2.7	15.4	14.4	6.2	3.2	1.8	1.7

■ 都道府県別 概算医療費の対前々年同期比（%）

	概算医療費								
	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全国	3.2	▲ 1.0	4.3	0.8	▲ 1.8	2.9	▲ 2.1	1.2	2.6
北海道	2.3	▲ 1.9	4.1	▲ 0.8	▲ 5.3	▲ 0.4	▲ 5.7	▲ 0.6	1.3
青森県	1.0	▲ 2.1	2.8	▲ 0.8	▲ 3.2	▲ 0.3	▲ 5.2	▲ 0.4	▲ 0.8
岩手県	0.8	▲ 1.1	4.2	▲ 0.3	▲ 2.0	1.4	▲ 4.7	0.4	4.9
宮城県	2.8	▲ 0.5	5.0	▲ 0.2	▲ 0.6	3.4	▲ 2.9	0.9	3.0
秋田県	0.7	▲ 1.4	3.7	▲ 1.1	▲ 4.2	1.5	▲ 4.6	▲ 0.4	0.6
山形県	1.3	▲ 2.7	2.2	▲ 1.5	▲ 2.6	2.2	▲ 2.5	0.2	2.0
福島県	1.3	▲ 2.7	0.3	▲ 3.6	▲ 5.5	▲ 0.3	▲ 4.8	▲ 2.7	1.4
茨城県	2.4	▲ 1.1	3.0	0.4	▲ 1.0	3.1	▲ 2.0	0.8	2.7
栃木県	3.0	0.4	6.7	2.6	0.5	4.8	▲ 0.2	2.7	3.0
群馬県	2.2	▲ 1.0	4.8	3.0	▲ 1.0	2.4	▲ 2.9	1.3	4.3
埼玉県	4.4	0.3	5.2	2.9	1.4	5.1	0.7	2.5	4.6
千葉県	3.9	0.3	5.9	3.4	1.9	4.7	0.4	2.6	4.5
東京都	4.2	▲ 2.1	3.7	1.0	▲ 0.8	3.5	▲ 1.6	1.2	3.6
神奈川県	4.7	▲ 0.1	6.3	3.4	1.8	5.4	▲ 0.1	1.8	3.6
新潟県	1.5	▲ 1.8	3.1	▲ 0.9	▲ 4.7	1.9	▲ 4.7	0.2	0.7
富山県	3.3	▲ 0.9	4.7	2.7	▲ 1.9	3.6	▲ 0.9	1.5	3.3
石川県	2.4	▲ 2.7	4.1	▲ 0.7	▲ 5.2	▲ 0.3	▲ 4.9	▲ 0.2	0.7
福井県	2.8	▲ 2.6	3.8	▲ 1.9	▲ 3.7	2.9	▲ 3.6	0.9	2.0
山梨県	1.1	▲ 1.4	5.0	0.6	▲ 1.5	3.9	▲ 1.5	2.4	1.9
長野県	3.2	▲ 0.1	4.4	0.2	▲ 2.1	3.3	▲ 2.1	2.6	4.7
岐阜県	1.6	▲ 2.1	2.6	▲ 0.5	▲ 1.4	4.1	▲ 1.1	2.0	3.9
静岡県	2.9	0.2	5.1	1.3	▲ 1.1	4.6	▲ 1.2	1.3	3.2
愛知県	4.4	0.2	5.3	3.4	▲ 0.0	5.5	0.6	3.6	4.6
三重県	3.2	▲ 1.3	3.4	▲ 0.4	▲ 3.3	2.8	▲ 2.4	0.6	0.3

	概算医療費								
	令和元年度	令和２年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
滋賀県	3.4	▲ 0.9	4.1	▲ 1.8	▲ 3.3	4.7	▲ 0.8	2.1	3.3
京都府	3.8	▲ 0.8	4.7	1.0	▲ 2.2	3.4	▲ 1.7	1.6	1.8
大阪府	3.9	▲ 0.5	4.7	0.1	▲ 3.7	2.7	▲ 2.9	1.3	2.3
兵庫県	3.7	▲ 1.5	3.6	▲ 0.7	▲ 3.2	2.3	▲ 2.7	1.3	3.1
奈良県	4.4	▲ 0.3	5.1	▲ 0.5	▲ 1.4	3.6	▲ 1.2	1.3	2.6
和歌山県	2.6	▲ 0.4	2.8	▲ 0.3	▲ 4.3	1.9	▲ 3.1	0.2	1.9
鳥取県	2.5	▲ 0.4	4.8	▲ 0.5	▲ 2.8	2.2	▲ 2.4	3.0	5.1
島根県	2.0	▲ 0.7	3.7	▲ 1.0	▲ 2.2	0.6	▲ 3.2	1.9	1.1
岡山県	2.5	▲ 0.9	3.2	▲ 0.1	▲ 3.9	1.0	▲ 3.5	0.0	2.2
広島県	2.0	▲ 1.0	4.4	0.6	▲ 2.5	0.8	▲ 3.2	0.7	2.1
山口県	0.9	▲ 1.7	2.8	▲ 0.9	▲ 3.5	1.3	▲ 3.1	▲ 1.3	2.4
徳島県	2.2	0.0	2.5	▲ 0.6	▲ 2.9	1.6	▲ 2.4	1.5	1.7
香川県	2.2	▲ 1.4	3.3	▲ 0.4	▲ 0.4	2.3	▲ 1.6	2.2	1.0
愛媛県	2.7	▲ 1.0	2.7	▲ 1.5	▲ 3.6	2.2	▲ 2.6	0.2	▲ 1.0
高知県	0.7	▲ 1.7	3.5	0.3	▲ 2.5	2.4	▲ 3.2	▲ 0.9	▲ 0.3
福岡県	3.3	▲ 1.6	4.5	1.4	▲ 1.1	2.0	▲ 1.4	2.5	1.6
佐賀県	2.2	▲ 0.4	3.6	1.4	▲ 2.1	3.2	▲ 1.6	2.4	1.1
長崎県	0.8	▲ 2.0	3.0	▲ 0.3	▲ 4.4	0.7	▲ 4.6	▲ 0.4	▲ 0.1
熊本県	2.0	▲ 0.4	4.5	1.4	▲ 2.6	2.2	▲ 1.9	1.5	2.3
大分県	2.4	▲ 1.2	2.9	0.7	▲ 4.0	1.2	▲ 2.6	0.3	1.1
宮崎県	1.8	▲ 1.2	2.8	0.4	▲ 2.9	0.6	▲ 2.7	0.0	0.4
鹿児島県	3.3	0.1	3.6	0.6	▲ 3.3	1.1	▲ 2.4	▲ 0.7	1.5
沖縄県	4.8	▲ 0.8	3.5	0.4	▲ 2.7	▲ 2.5	▲ 5.4	▲ 2.9	▲ 2.5
最大：	4.8	0.4	6.7	3.4	1.9	5.5	0.7	3.6	5.1
	沖縄県	栃木県	栃木県	千葉県	千葉県	愛知県	埼玉県	愛知県	鳥取県
最小：	0.7	▲ 2.7	0.3	▲ 3.6	▲ 5.5	▲ 2.5	▲ 5.7	▲ 2.9	▲ 2.5
	高知県	石川県	福島県	福島県	福島県	沖縄県	北海道	沖縄県	沖縄県
分散※：	1.3	0.7	1.3	2.3	3.1	2.9	2.5	2.0	2.9

※分散とは、データの散らばりの度合いを表す値

：医療費の伸び率　上位5県

：医療費の伸び率　下位5県

医療費の動向　令和3年度4月～9月　⑥休日数等の調整

○　休日数等の調整後の概算医療費の9月の伸び率について、対前年同月比は2.9%の増加も、対前々年同月比は▲0.1%の減少。

■診療種類別医療費の伸び率（休日数等の補正後・対前年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度	令和3年度						
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総計	2.9	-3.9	1.8	10.2	11.5	5.4	3.6	4.0	2.9
入院	2.1	-3.5	-0.9	6.3	8.7	3.9	1.6	0.9	-0.1
入院外	2.8	-5.3	5.5	17.8	16.1	7.7	6.0	8.1	6.0
歯科	2.8	-1.8	5.3	24.1	21.8	5.1	3.1	2.2	1.1
調剤	4.6	-3.8	-0.8	0.3	5.3	3.6	2.7	3.4	3.8

＜前年同期差（日）＞

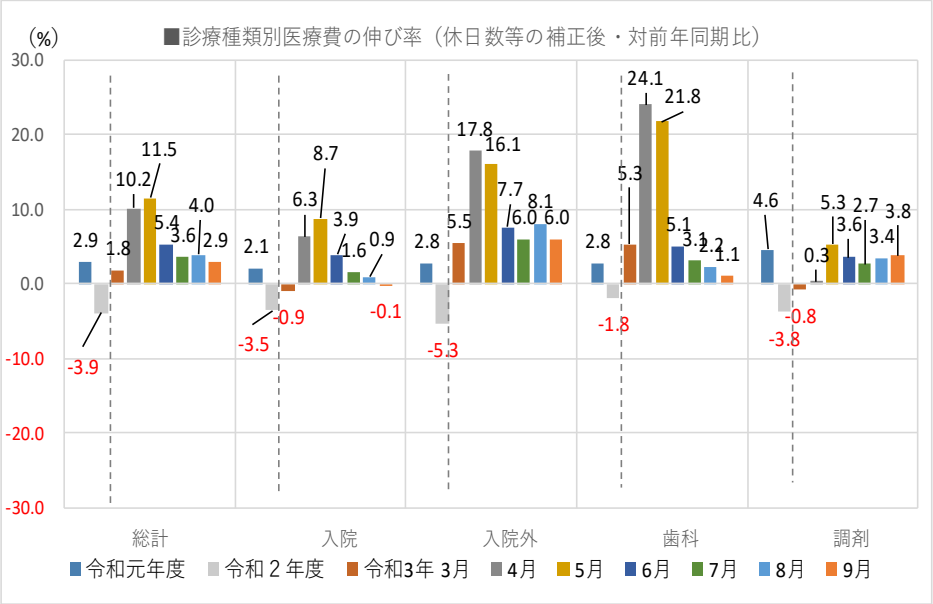
日曜・祭日等	+3	-4	-1	+0	+0	+0	+0	+0	+0
土曜	+2	+0	-1	+0	+0	+0	+1	-1	+0
休日でない木曜	+1	-1	+0	-1	+0	+0	+0	+0	+0

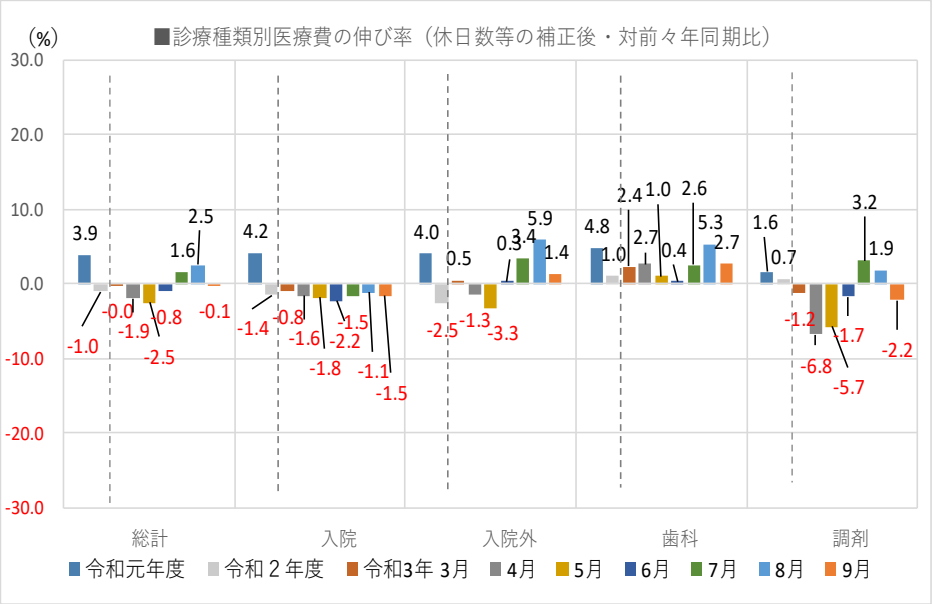
■診療種類別医療費の伸び率（休日数等の補正後・対前々年同期比）　（単位：%）

	令和元年度	令和２年度	令和3年度						
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総計	3.9	-1.0	-0.0	-1.9	-2.5	-0.8	1.6	2.5	-0.1
入院	4.2	-1.4	-0.8	-1.6	-1.8	-2.2	-1.5	-1.1	-1.5
入院外	4.0	-2.5	0.5	-1.3	-3.3	0.3	3.4	5.9	1.4
歯科	4.8	1.0	2.4	2.7	1.0	0.4	2.6	5.3	2.7
調剤	1.6	0.7	-1.2	-6.8	-5.7	-1.7	3.2	1.9	-2.2

＜前々年同期差（日）＞

日曜・祭日等	+4	-1	-1	-1	-1	-1	+1	+1	-1
土曜	+1	+2	-2	+0	+2	-1	+1	-1	+0
休日でない木曜	+0	+0	+1	+0	+0	+0	+0	-1	+0





※令和元年度、令和2年度は閏月の補正（月ベースで当年が閏月の場合は+3.6%、前年が閏月の場合は▲3.4%）を行っている。

電子レセプトを用いた医科（入院・入院外）医療費の分析
＜令和3年度4月～9月＞

- レセプト電算処理システムにより処理された診療報酬明細書（電子レセプト）のうち医科入院、医科入院外分を用いて集計、医療費の動向について詳細を分析。
- ただし、電算化率の変動が医療費の伸び率に影響を与えること(電算化率は入院は95%程度、入院外は98%程度)に留意が必要。

○ 年齢階級別では、対前々年で見ると、9月は、入院では「5歳以上 10歳未満」の減少が大きく、入院外では他の世代がプラスとなる中、「0歳以上 5歳未満」「5歳以上 10歳未満」が減少となった。

○ 疾病分類別では、入院・入院外ともに、COVID-19を含む「特殊目的用コード」のプラスの影響が大きくなっている。

○ 診療内容別では、入院は、「入院基本料、特定入院料等」のプラス、「DPC包括部分」のマイナスが大きく影響しており、入院外は、「検査・病理診断」のプラスの影響が大きくなっている。

電子レセプトを用いた医科医療費の分析　令和3年度4月～9月　①年齢階級別

○　9月は対前年で見ると、入院・入院外ともに多くの年齢層がプラスとなっているが、対前々年で見ると、入院はマイナスとなる年齢層が増え、特に、「5歳以上 10歳未満」の減少幅が大きく、入院外は「0歳以上 5歳未満」「5歳以上 10歳未満」の層でマイナスとなっている。

対前年

■ 入院 1人当たり医療費の対前年伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総数	2.5	▲ 3.3	1.7	7.1	10.6	5.1	1.9	3.3	1.7
0歳以上 5歳未満	0.8	▲ 14.7	▲ 7.3	11.5	21.8	21.1	27.8	22.7	9.4
5歳以上 10歳未満	3.4	▲ 18.3	▲ 10.7	8.4	20.1	8.4	7.2	4.3	▲ 2.3
10歳以上 15歳未満	2.8	▲ 5.9	0.5	13.7	19.0	12.4	12.4	6.6	▲ 2.5
15歳以上 20歳未満	4.3	▲ 6.8	1.8	19.3	21.8	16.1	26.0	15.2	0.7
20歳以上 25歳未満	0.7	▲ 5.6	▲ 0.9	10.1	16.2	12.6	8.2	8.4	6.7
25歳以上 30歳未満	0.3	▲ 5.2	0.4	7.7	10.3	10.1	3.0	1.4	4.3
30歳以上 35歳未満	0.6	▲ 4.2	▲ 0.8	7.9	11.0	7.4	2.6	5.1	6.8
35歳以上 40歳未満	0.7	▲ 3.6	0.0	7.3	11.0	7.9	1.1	5.3	5.8
40歳以上 45歳未満	1.7	▲ 4.7	0.0	5.8	12.3	9.9	2.5	6.1	5.3
45歳以上 50歳未満	0.9	▲ 4.6	▲ 0.6	5.8	11.5	8.4	3.1	4.8	5.0
50歳以上 55歳未満	0.3	▲ 3.1	1.1	5.3	11.5	9.1	2.9	2.5	4.9
55歳以上 60歳未満	1.3	▲ 4.6	▲ 0.2	3.0	8.8	7.9	0.9	1.1	4.4
60歳以上 65歳未満	1.2	▲ 4.0	0.1	3.9	10.6	8.5	0.5	1.3	1.1
65歳以上 70歳未満	1.2	▲ 4.4	0.2	4.8	10.1	3.8	▲ 2.9	1.7	0.4
70歳以上 75歳未満	0.9	▲ 4.0	1.6	7.1	12.1	4.0	▲ 0.9	2.0	1.2
75歳以上 80歳未満	1.1	▲ 4.3	0.9	6.1	10.2	1.1	▲ 0.3	1.4	▲ 0.6
80歳以上 85歳未満	1.1	▲ 4.7	0.8	6.1	7.0	▲ 0.2	▲ 0.4	0.2	▲ 2.0
85歳以上 90歳未満	0.8	▲ 4.3	0.4	5.2	4.9	0.4	0.3	▲ 0.5	▲ 2.9
90歳以上 95歳未満	1.0	▲ 4.8	0.1	3.1	3.4	0.8	2.0	0.2	▲ 2.2
95歳以上 100歳未満	▲ 1.0	▲ 6.9	▲ 3.3	0.2	0.3	▲ 2.4	6.3	▲ 1.9	▲ 6.6
100歳以上	3.6	▲ 6.2	0.9	4.0	4.2	3.9	▲ 2.6	2.1	▲ 1.1

■ 入院外 1人当たり医療費の対前年伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総数	2.4	▲ 4.0	10.5	19.0	17.1	8.3	5.3	9.7	6.5
0歳以上 5歳未満	▲ 1.5	▲ 23.8	20.4	89.7	122.1	87.8	89.7	68.4	34.5
5歳以上 10歳未満	▲ 0.9	▲ 19.0	18.1	51.9	55.4	28.4	8.4	13.1	10.4
10歳以上 15歳未満	▲ 0.4	▲ 11.5	30.7	59.6	58.7	21.0	6.6	2.2	2.8
15歳以上 20歳未満	2.0	▲ 3.9	23.4	53.7	48.8	26.5	19.2	19.0	10.7
20歳以上 25歳未満	0.4	▲ 0.9	16.0	39.0	36.6	19.3	17.9	31.7	18.3
25歳以上 30歳未満	0.6	▲ 3.3	12.3	32.0	30.6	15.5	11.4	21.9	13.6
30歳以上 35歳未満	1.9	▲ 4.2	12.2	29.6	30.7	16.1	9.0	19.1	12.8
35歳以上 40歳未満	1.5	▲ 4.4	11.2	25.3	26.5	13.6	7.7	15.5	10.0
40歳以上 45歳未満	2.7	▲ 4.0	10.7	21.6	20.9	11.7	6.5	11.8	7.9
45歳以上 50歳未満	2.2	▲ 3.2	10.1	18.5	16.8	9.3	5.0	9.7	6.6
50歳以上 55歳未満	2.1	▲ 3.1	9.4	16.8	14.5	8.0	5.2	8.5	6.3
55歳以上 60歳未満	2.8	▲ 3.2	8.0	14.3	12.5	7.0	3.5	6.2	4.7
60歳以上 65歳未満	2.2	▲ 3.3	8.1	13.4	11.5	5.9	2.4	5.6	3.8
65歳以上 70歳未満	2.3	▲ 3.7	8.6	13.0	11.4	4.2	0.8	6.0	4.3
70歳以上 75歳未満	1.5	▲ 3.4	8.8	13.5	11.1	3.1	0.4	5.8	3.5
75歳以上 80歳未満	1.3	▲ 4.2	7.4	12.6	9.6	2.1	0.6	5.6	4.0
80歳以上 85歳未満	1.7	▲ 4.2	8.4	13.7	9.2	1.6	1.0	5.6	3.8
85歳以上 90歳未満	1.3	▲ 3.7	7.6	12.6	7.3	0.6	1.0	4.7	3.3
90歳以上 95歳未満	1.3	▲ 2.8	8.1	12.3	7.0	1.5	2.1	5.3	3.5
95歳以上 100歳未満	▲ 0.5	▲ 2.1	7.5	9.8	5.8	0.3	7.6	3.5	0.8
100歳以上	6.1	1.3	13.6	16.5	10.4	7.6	▲ 1.1	9.5	7.5

対前々年

■ 入院 1人当たり医療費の対前々年伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総数	4.8	▲ 0.8	3.0	0.6	▲ 1.2	0.9	▲ 2.6	▲ 0.3	1.0
0歳以上 5歳未満	4.0	▲ 14.0	▲ 8.0	▲ 10.0	▲ 4.0	2.0	5.6	4.1	▲ 7.6
5歳以上 10歳未満	8.3	▲ 15.6	▲ 14.9	▲ 17.8	▲ 12.8	▲ 10.9	▲ 14.7	▲ 13.0	▲ 12.4
10歳以上 15歳未満	6.2	▲ 3.3	3.0	▲ 0.1	0.4	7.2	▲ 4.0	▲ 0.5	1.4
15歳以上 20歳未満	9.0	▲ 2.8	3.6	3.3	2.0	3.2	▲ 0.4	0.0	2.0
20歳以上 25歳未満	1.5	▲ 5.0	▲ 2.4	▲ 1.3	▲ 3.2	3.5	3.3	▲ 2.0	3.7
25歳以上 30歳未満	1.1	▲ 4.9	▲ 0.7	▲ 2.5	▲ 3.7	0.8	▲ 4.2	▲ 3.3	3.1
30歳以上 35歳未満	1.3	▲ 3.5	0.5	0.2	▲ 1.5	2.9	▲ 2.3	2.6	6.7
35歳以上 40歳未満	2.0	▲ 3.0	1.2	▲ 0.4	▲ 2.3	3.1	▲ 1.5	1.8	6.7
40歳以上 45歳未満	1.4	▲ 3.1	1.6	▲ 0.6	▲ 0.6	3.3	▲ 3.7	1.2	4.4
45歳以上 50歳未満	0.8	▲ 3.7	0.2	▲ 2.3	▲ 2.4	2.1	▲ 3.1	▲ 0.6	4.8
50歳以上 55歳未満	0.7	▲ 2.8	2.1	▲ 1.7	▲ 1.0	3.3	▲ 2.4	▲ 2.0	6.2
55歳以上 60歳未満	1.7	▲ 3.3	0.4	▲ 2.5	▲ 3.3	2.4	▲ 4.6	▲ 3.9	3.3
60歳以上 65歳未満	1.6	▲ 2.9	1.9	▲ 1.3	▲ 1.9	1.9	▲ 5.0	▲ 2.0	▲ 0.3
65歳以上 70歳未満	1.8	▲ 3.2	1.2	▲ 1.2	▲ 3.1	▲ 2.1	▲ 8.0	▲ 1.8	▲ 1.3
70歳以上 75歳未満	0.6	▲ 3.1	2.0	▲ 0.6	▲ 2.7	▲ 1.6	▲ 6.3	▲ 1.7	▲ 0.7
75歳以上 80歳未満	2.1	▲ 3.3	0.8	▲ 1.6	▲ 4.1	▲ 3.9	▲ 5.4	▲ 2.5	▲ 1.9
80歳以上 85歳未満	1.6	▲ 3.7	▲ 0.2	▲ 2.1	▲ 5.3	▲ 4.7	▲ 5.3	▲ 4.8	▲ 4.1
85歳以上 90歳未満	1.6	▲ 3.5	▲ 1.0	▲ 3.1	▲ 5.5	▲ 3.7	▲ 4.7	▲ 5.0	▲ 4.8
90歳以上 95歳未満	1.7	▲ 3.8	▲ 1.7	▲ 4.6	▲ 6.3	▲ 3.7	▲ 3.6	▲ 5.1	▲ 5.8
95歳以上 100歳未満	▲ 1.9	▲ 7.9	▲ 6.1	▲ 8.2	▲ 10.5	▲ 8.2	▲ 1.0	▲ 10.2	▲ 11.4
100歳以上	3.7	▲ 2.8	0.1	▲ 3.9	▲ 4.7	▲ 2.2	▲ 6.7	▲ 3.4	▲ 2.9

■ 入院外 1人当たり医療費の対前々年伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度		令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総数	3.8	▲ 1.7	6.4	3.2	▲ 1.1	5.9	▲ 0.4	4.9	5.9
0歳以上 5歳未満	▲ 2.6	▲ 25.0	▲ 7.5	4.7	7.3	19.7	29.4	21.2	▲ 3.6
5歳以上 10歳未満	▲ 0.3	▲ 19.8	▲ 9.8	▲ 6.1	▲ 5.6	▲ 2.6	▲ 4.3	2.3	▲ 6.5
10歳以上 15歳未満	▲ 0.6	▲ 11.8	▲ 5.3	▲ 1.7	▲ 2.7	▲ 1.9	▲ 3.2	7.8	1.0
15歳以上 20歳未満	4.2	▲ 2.0	6.5	5.9	5.5	10.8	8.5	25.4	16.1
20歳以上 25歳未満	3.0	▲ 0.4	7.6	13.3	10.5	15.6	16.3	36.1	22.5
25歳以上 30歳未満	4.0	▲ 2.7	3.7	9.4	7.7	10.3	7.2	22.4	15.4
30歳以上 35歳未満	5.4	▲ 2.4	4.6	8.4	6.7	10.5	3.7	17.5	13.3
35歳以上 40歳未満	3.7	▲ 3.0	3.6	6.3	3.5	8.7	2.3	12.8	10.2
40歳以上 45歳未満	4.2	▲ 1.4	4.9	5.2	2.2	8.0	1.4	10.0	8.9
45歳以上 50歳未満	2.9	▲ 1.1	5.5	4.4	0.8	6.9	0.0	6.3	7.5
50歳以上 55歳未満	3.0	▲ 1.1	5.8	3.4	▲ 0.8	6.2	▲ 0.4	4.1	6.4
55歳以上 60歳未満	3.7	▲ 0.5	6.1	2.4	▲ 1.4	6.0	▲ 1.3	1.6	5.5
60歳以上 65歳未満	3.4	▲ 1.2	6.5	1.8	▲ 3.4	5.4	▲ 2.5	0.3	4.2
65歳以上 70歳未満	2.5	▲ 1.5	7.6	1.2	▲ 3.7	4.3	▲ 4.1	0.6	4.4
70歳以上 75歳未満	0.8	▲ 1.9	7.4	0.9	▲ 4.6	3.0	▲ 5.0	▲ 0.3	3.0
75歳以上 80歳未満	2.0	▲ 3.0	5.5	▲ 0.6	▲ 5.9	1.5	▲ 5.2	▲ 0.9	2.9
80歳以上 85歳未満	1.5	▲ 2.6	6.2	0.1	▲ 5.2	1.5	▲ 4.6	▲ 0.6	2.4
85歳以上 90歳未満	1.2	▲ 2.5	4.8	▲ 0.7	▲ 5.3	0.6	▲ 4.3	▲ 1.1	2.0
90歳以上 95歳未満	1.5	▲ 1.5	4.9	0.2	▲ 4.0	2.4	▲ 1.9	0.7	2.8
95歳以上 100歳未満	▲ 1.0	▲ 2.6	3.9	▲ 0.3	▲ 2.8	1.8	4.5	▲ 0.0	0.0
100歳以上	7.7	7.5	14.1	10.3	6.9	13.2	0.8	12.2	13.2

：変動幅が10%を超える区分

※１人当たり医療費の算出にあたり、各年齢階級毎の人数は総務省統計局「人口推計」における５歳階級別人口を用いた。

電子レセプトを用いた医科医療費の分析　令和３年度４月～9月　②-1 疾病分類別 入院　（対前年）

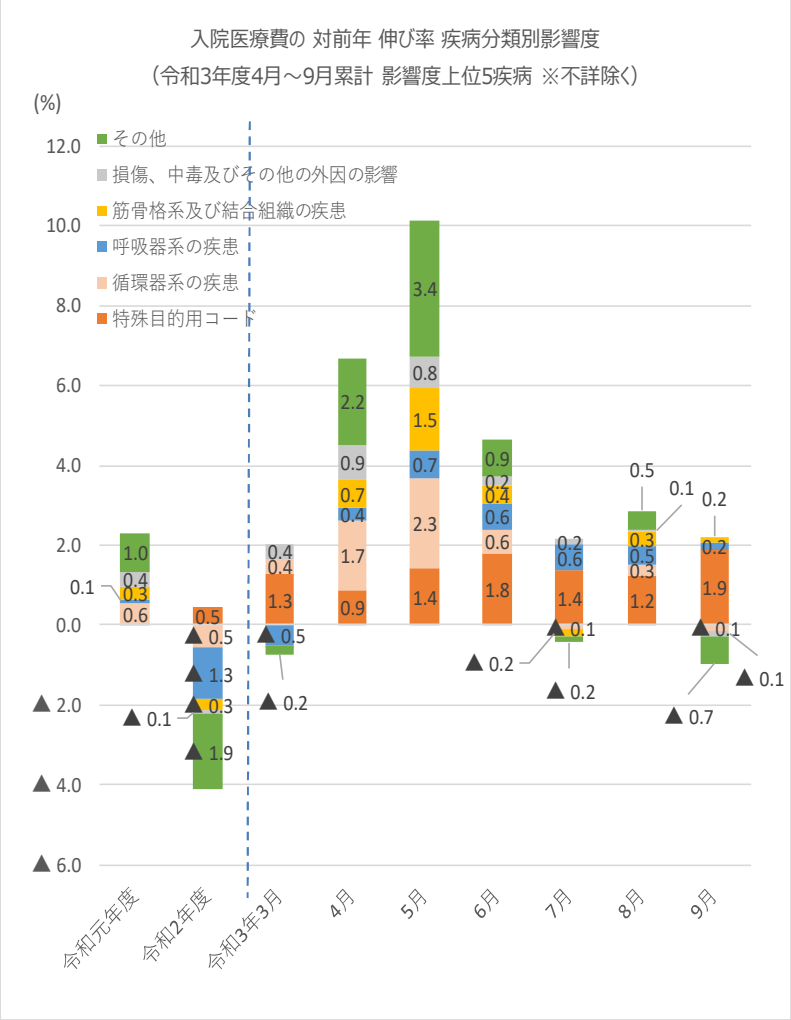
○　入院医療費の伸び率について、疾病分類別に見ると、9月は対前年ではマイナスとなる疾病分類が増えており、「呼吸器系の疾患」の増加幅も8月に比べ小さくなっている。

○　影響度で見ると、9月もCOVID-19を含む「特殊目的用コード」のプラスの影響が大きい。

■入院 疾病分類別 医療費の対前年伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度		令和3年度						令和2年度医療費の構成割合
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総数	2.3	▲ 3.7	1.3	6.7	10.1	4.7	1.7	2.9	1.3	100.0
感染症及び寄生虫症	1.2	▲ 4.2	7.5	12.1	12.7	7.7	5.3	1.4	2.4	1.4
新生物＜腫瘍＞	2.7	▲ 3.5	▲ 0.8	1.0	6.2	2.0	▲ 1.2	2.1	▲ 0.3	16.5
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3.7	▲ 3.9	0.4	5.4	3.2	4.1	5.0	4.3	0.4	0.7
内分泌、栄養及び代謝疾患	2.4	▲ 3.9	0.6	7.6	7.1	0.8	1.2	▲ 0.8	▲ 5.5	2.7
精神及び行動の障害	▲ 0.4	▲ 1.7	▲ 1.3	0.3	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 1.0	▲ 1.2	▲ 1.6	8.8
神経系の疾患	4.0	▲ 0.6	0.7	4.1	4.7	1.8	0.4	1.1	▲ 0.5	6.7
眼及び付属器の疾患	3.4	▲ 14.5	▲ 6.3	8.7	34.7	5.1	▲ 7.9	0.6	▲ 4.4	1.4
耳及び乳様突起の疾患	0.4	▲ 15.9	▲ 6.2	26.6	24.0	4.3	▲ 5.2	▲ 2.6	▲ 8.5	0.3
循環器系の疾患	2.6	▲ 2.5	1.8	7.7	10.2	2.8	▲ 0.5	1.3	▲ 0.7	22.1
呼吸器系の疾患	1.1	▲ 20.8	▲ 8.9	6.7	13.1	12.5	12.7	9.1	3.0	5.2
消化器系の疾患	2.0	▲ 3.6	2.5	11.8	12.2	1.7	▲ 0.9	0.5	▲ 1.9	5.9
皮膚及び皮下組織の疾患	3.6	▲ 2.4	0.3	7.0	6.4	2.5	0.5	▲ 2.2	▲ 3.6	0.8
筋骨格系及び結合組織の疾患	4.8	▲ 3.8	▲ 0.2	9.2	24.6	6.2	▲ 2.0	4.7	2.3	7.2
腎尿路生殖器系の疾患	4.4	▲ 1.5	1.3	7.4	6.8	1.7	2.0	▲ 0.3	▲ 2.5	4.3
妊娠、分娩及び産じょく	▲ 1.1	▲ 4.7	▲ 0.7	5.4	3.6	3.1	2.9	2.8	2.1	1.1
周産期に発生した病態	0.7	0.7	▲ 7.6	1.8	▲ 0.6	▲ 3.4	2.7	6.7	1.6	1.0
先天奇形、変形及び染色体異常	1.2	▲ 6.2	▲ 2.6	7.4	19.7	7.0	▲ 1.2	3.2	▲ 1.2	0.8
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2.3	▲ 6.3	3.2	8.6	9.4	6.9	7.3	8.0	3.9	0.9
損傷、中毒及びその他の外因の影響	3.7	▲ 0.9	3.4	8.7	7.7	2.5	1.5	0.5	▲ 1.4	10.5
特殊目的用コード	173.4	・	・	・	906.2	・	・	497.0	599.2	0.5
不詳	▲ 12.1	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 7.2	▲ 5.7	▲ 3.4	▲ 4.8	▲ 4.1	▲ 3.9	1.3

注.「・」は "算出できないもの（例：対前年同期比において前年同期の数値がないもの）" または "伸び率が1000%以上のもの" を表す。



：変動幅が10%を超える区分（特殊目的用コードは対象外）　　：上位5疾病分類

※影響度は（各疾病分類の医療費の増減分）÷（前期の医療費総数）×100 で算定

電子レセプトを用いた医科医療費の分析　令和3年度4月～9月　②-1 疾病分類別 入院　（対前々年）

○　入院医療費の伸び率について疾病分類別に見ると、対前々年では、9月も「呼吸器系の疾患」「耳及び乳様突起の疾患」「眼及び付属器の疾患」の減少幅が大きい。

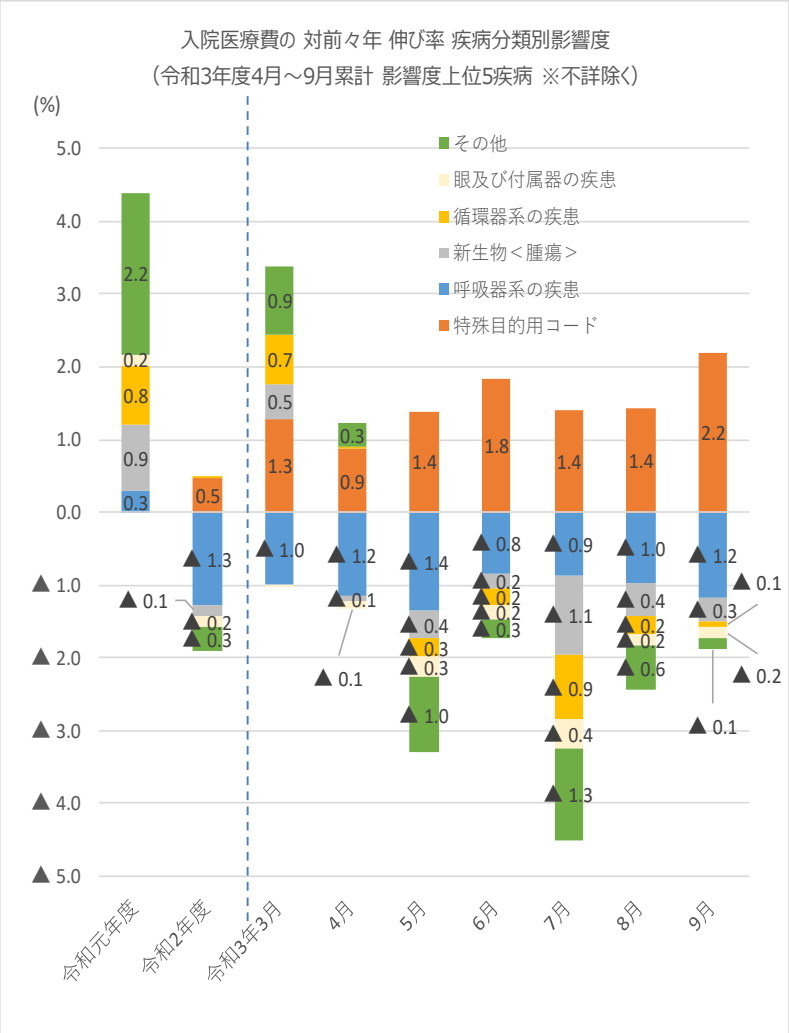
○　影響度で見ると、引き続き、COVID-19を含む「特殊目的用コード」のプラスの影響、「新生物」「呼吸器系の疾患」のマイナスの影響が大きい。

■入院 疾病分類別 医療費の対前々年伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度		令和3年度						令和元年度医療費の構成割合
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総数	4.4	▲ 1.4	2.4	▲ 0.1	▲ 1.9	0.1	▲ 3.1	▲ 1.0	0.3	100.0
感染症及び寄生虫症	▲ 2.0	▲ 3.0	▲ 0.7	▲ 6.0	▲ 4.0	▲ 0.4	0.9	▲ 0.9	3.3	1.4
新生物＜腫瘍＞	5.7	▲ 0.8	3.0	▲ 0.4	▲ 2.4	▲ 1.3	▲ 6.6	▲ 2.7	▲ 2.0	16.4
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2.7	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 1.3	▲ 4.5	▲ 1.0	1.7	▲ 0.2	▲ 0.9	0.7
内分泌、栄養及び代謝疾患	1.4	▲ 1.6	▲ 0.7	▲ 1.3	▲ 3.5	▲ 3.2	▲ 2.3	▲ 4.1	▲ 3.3	2.7
精神及び行動の障害	0.2	▲ 2.0	▲ 1.8	▲ 1.7	▲ 2.6	▲ 1.5	▲ 2.1	▲ 2.4	▲ 2.2	8.6
神経系の疾患	11.0	3.4	3.2	2.5	0.6	1.5	0.3	1.0	1.1	6.5
眼及び付属器の疾患	10.4	▲ 11.6	▲ 1.8	▲ 6.4	▲ 17.6	▲ 12.7	▲ 23.6	▲ 11.7	▲ 11.1	1.5
耳及び乳様突起の疾患	4.1	▲ 15.5	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 17.9	▲ 15.8	▲ 17.9	▲ 17.1	▲ 14.5	0.3
循環器系の疾患	3.7	0.0	3.1	0.2	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 4.1	▲ 1.2	▲ 0.3	21.9
呼吸器系の疾患	4.5	▲ 19.9	▲ 15.9	▲ 18.1	▲ 20.4	▲ 13.7	▲ 13.8	▲ 15.1	▲ 18.3	6.3
消化器系の疾患	7.9	▲ 1.6	1.9	0.7	▲ 2.4	▲ 1.5	▲ 2.6	▲ 1.4	▲ 0.8	5.9
皮膚及び皮下組織の疾患	9.4	1.1	3.2	1.0	▲ 1.8	2.0	0.9	▲ 3.0	▲ 2.8	0.8
筋骨格系及び結合組織の疾患	12.2	0.8	3.9	4.3	1.8	▲ 0.2	▲ 6.5	1.8	3.0	7.2
腎尿路生殖器系の疾患	9.1	2.9	4.2	2.5	▲ 1.6	0.8	0.0	▲ 0.7	0.3	4.2
妊娠、分娩及び産じょく	▲ 0.6	▲ 5.8	0.2	2.9	▲ 3.0	1.2	▲ 1.8	▲ 0.6	1.0	1.1
周産期に発生した病態	2.3	1.5	3.4	6.1	5.8	6.7	1.8	10.9	2.9	0.9
先天奇形、変形及び染色体異常	4.2	▲ 5.1	▲ 0.8	▲ 4.5	▲ 2.6	▲ 0.9	▲ 10.4	▲ 3.2	2.6	0.8
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	▲ 0.5	▲ 4.1	0.9	▲ 1.2	▲ 2.3	0.9	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 1.8	0.9
損傷、中毒及びその他の外因の影響	7.0	2.7	6.0	3.0	▲ 1.4	2.1	0.3	▲ 0.3	1.2	10.2
特殊目的用コード	201.2	・	・	・	・	・	・	・	・	0.0
不詳	▲ 38.2	▲ 25.3	▲ 19.3	▲ 20.3	▲ 22.2	▲ 20.1	▲ 19.4	▲ 18.3	▲ 17.0	1.5

注.「・」は"算出できないもの（例：対前年同期比において前年同期の数値がないもの）"または"伸び率が1000%以上のもの"を表す。

：変動幅が10%を超える区分（特殊目的用コードは対象外）　　：上位5疾病分類



※影響度は（各疾病分類の医療費の増減分）÷（前期の医療費総数）×100 で算定

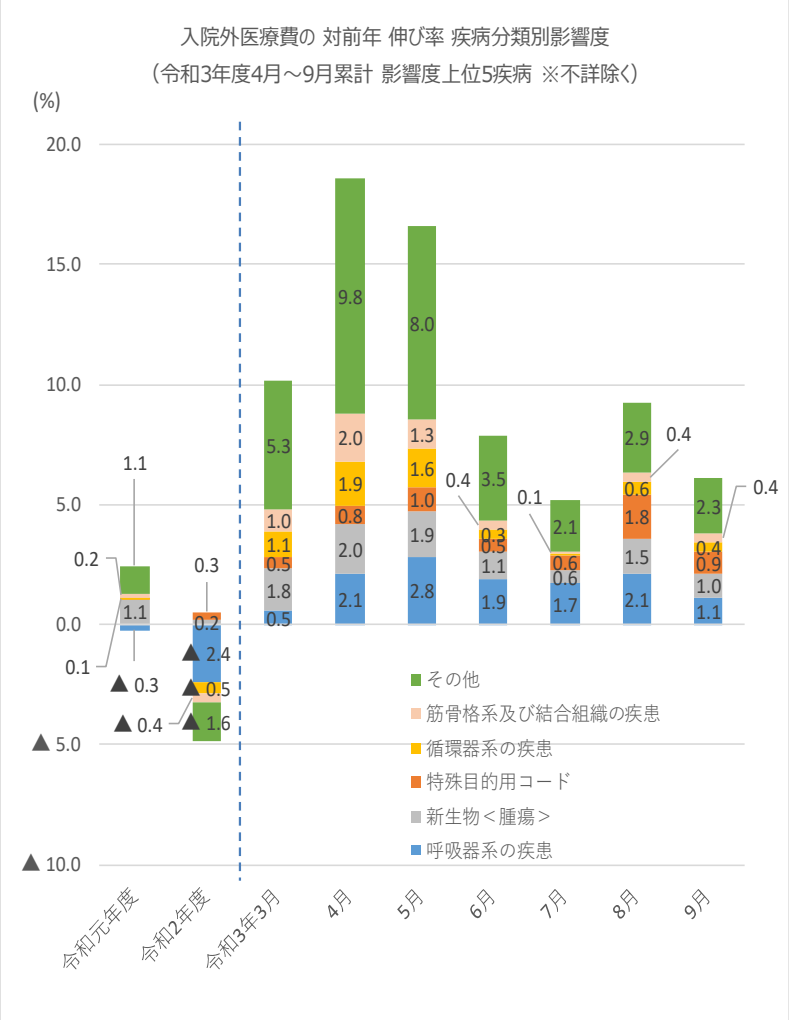
電子レセプトを用いた医科医療費の分析　令和3年度4月～9月　②-1 疾病分類別 入院外　（対前年）

○　入院外医療費の伸び率について疾病分類別に見ると、対前年では、9月もほとんどの疾病分類でプラスとなっており、「呼吸器系の疾患」など10%を超える増加を示す疾患も見られる。
○　影響度で見ると、「呼吸器系の疾患」が1.1%とプラスの影響が大きいが、8月に比べると小さくなった。

■入院外 疾病分類別 医療費の対前年伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度		令和3年度						令和2年度医療費の構成割合
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総数	2.2	▲ 4.3	10.1	18.6	16.6	7.9	5.1	9.2	6.1	100.0
感染症及び寄生虫症	▲ 4.3	▲ 14.9	2.8	19.8	19.7	7.3	4.5	8.7	5.7	2.2
新生物＜腫瘍＞	9.3	1.8	13.7	15.1	14.4	8.6	4.5	11.6	7.5	13.1
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12.5	2.3	9.0	10.0	7.4	8.8	4.8	10.9	6.2	1.3
内分泌、栄養及び代謝疾患	2.2	▲ 1.1	8.5	11.9	11.4	4.9	2.7	4.7	3.9	10.9
精神及び行動の障害	1.8	▲ 2.0	8.1	13.0	10.5	6.4	3.8	4.8	3.2	4.1
神経系の疾患	4.7	1.5	12.1	17.3	14.4	9.1	6.8	10.6	9.3	3.5
眼及び付属器の疾患	2.7	▲ 3.3	15.3	30.1	25.5	5.5	▲ 0.7	2.4	2.8	6.1
耳及び乳様突起の疾患	▲ 0.5	▲ 12.0	13.3	44.2	31.8	17.3	10.6	10.4	4.6	0.9
循環器系の疾患	0.4	▲ 3.4	6.7	11.0	9.7	2.1	0.2	3.6	2.6	15.9
呼吸器系の疾患	▲ 3.0	▲ 29.3	7.3	35.4	56.3	38.3	30.9	41.5	21.5	6.0
消化器系の疾患	1.6	▲ 3.7	12.4	25.1	21.7	8.6	5.4	7.4	5.6	5.3
皮膚及び皮下組織の疾患	5.4	0.3	11.3	28.7	12.2	5.5	8.7	1.5	5.3	3.2
筋骨格系及び結合組織の疾患	1.9	▲ 4.3	10.8	22.9	13.8	4.2	1.4	4.6	3.9	8.9
腎尿路生殖器系の疾患	2.9	▲ 1.4	5.1	6.1	4.5	2.2	1.1	2.2	2.0	11.2
妊娠、分娩及び産じょく	▲ 5.1	▲ 3.6	8.6	13.1	7.1	6.8	3.7	3.1	▲ 0.4	0.1
周産期に発生した病態	▲ 1.0	▲ 3.0	▲ 14.8	13.5	37.0	56.2	22.2	13.0	4.9	0.2
先天奇形、変形及び染色体異常	3.2	▲ 1.1	7.8	26.8	25.3	17.4	11.5	9.7	5.9	0.4
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4.0	▲ 2.9	21.4	43.3	37.5	21.3	17.6	25.6	18.2	1.8
損傷、中毒及びその他の外因の影響	1.6	▲ 4.5	17.0	34.4	23.5	10.0	6.7	▲ 1.3	▲ 1.4	2.7
特殊目的用コード	・	・	・	・	・	791.3	358.1	681.8	425.7	0.3
不詳	▲ 7.9	▲ 11.2	2.7	12.7	6.9	▲ 1.4	▲ 4.1	0.2	▲ 2.5	1.9

注.「・」は"算出できないもの（例：対前年同期比において前年同期の数値がないもの）"または"伸び率が1000%以上のもの"を表す。



：変動幅が10%を超える区分（特殊目的用コードは対象外）　：上位5疾病分類

※影響度は（各疾病分類の医療費の増減分）÷（前期の医療費総数）×100 で算定

電子レセプトを用いた医科医療費の分析　令和3年度4月～9月　②-1 疾病分類別 入院外　（対前々年）

○　入院外医療費の伸び率について疾病分類別に見ると、対前々年では、9月はほとんどの疾病分類がプラスとなり、8月はプラスに転じた「呼吸器系の疾患」が再びマイナスとなった。

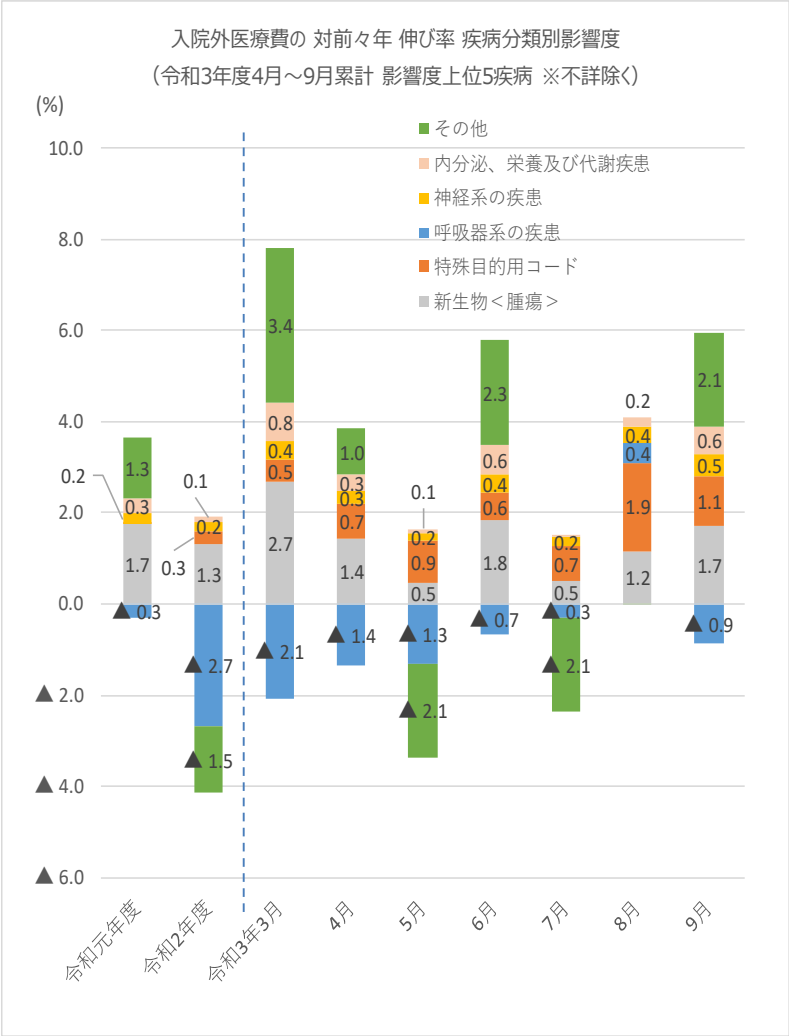
○　影響度で見ると、COVID-19を含む「特殊目的用コード」のプラスの影響が1.1%と8月からは小さくなり、「新生物」のプラスの影響が最も大きくなった。

■入院外 疾病分類別 医療費の対前々年伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度		令和3年度						令和元年度医療費の構成割合
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総数	3.3	▲ 2.2	5.7	2.5	▲ 1.7	5.1	▲ 0.9	4.1	5.1	100.0
感染症及び寄生虫症	▲ 5.1	▲ 18.6	▲ 6.8	▲ 8.6	▲ 12.3	▲ 8.2	▲ 14.1	▲ 7.3	▲ 6.2	2.5
新生物＜腫瘍＞	15.8	11.3	23.4	12.2	3.8	15.0	4.1	9.2	13.9	12.3
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	20.3	15.1	25.2	14.9	10.3	14.0	9.9	9.2	15.0	1.2
内分泌、栄養及び代謝疾患	3.1	1.0	7.8	3.3	0.8	6.1	0.2	2.0	5.6	10.6
精神及び行動の障害	3.2	▲ 0.3	7.2	2.1	▲ 1.6	6.4	▲ 1.0	1.2	5.2	4.0
神経系の疾患	8.0	6.3	13.5	9.2	5.8	12.8	6.5	10.6	14.4	3.3
眼及び付属器の疾患	5.9	▲ 0.7	7.1	4.5	▲ 2.3	3.5	▲ 5.7	2.1	3.6	6.0
耳及び乳様突起の疾患	1.6	▲ 12.4	▲ 4.9	▲ 4.6	▲ 7.3	▲ 1.5	▲ 5.5	▲ 1.8	▲ 2.8	0.9
循環器系の疾患	▲ 0.5	▲ 3.0	3.7	▲ 0.7	▲ 3.8	1.1	▲ 4.2	▲ 1.3	2.0	15.7
呼吸器系の疾患	▲ 3.6	▲ 31.4	▲ 21.2	▲ 16.2	▲ 16.4	▲ 8.9	▲ 4.5	6.7	▲ 12.2	8.1
消化器系の疾患	2.7	▲ 2.1	6.4	3.0	▲ 1.1	3.5	▲ 1.8	2.4	6.7	5.3
皮膚及び皮下組織の疾患	9.6	5.7	10.5	9.9	1.8	11.9	3.7	3.2	7.3	3.1
筋骨格系及び結合組織の疾患	3.0	▲ 2.4	6.2	2.1	▲ 4.0	3.2	▲ 5.1	▲ 1.3	2.9	8.9
腎尿路生殖器系の疾患	4.2	1.5	6.5	1.3	▲ 3.1	5.2	▲ 0.7	▲ 1.0	3.6	10.8
妊娠、分娩及び産じょく	▲ 4.7	▲ 8.5	4.9	1.8	▲ 4.2	2.9	▲ 3.1	▲ 3.2	▲ 1.3	0.1
周産期に発生した病態	▲ 12.7	▲ 4.0	▲ 32.3	▲ 10.1	24.7	69.1	34.3	12.7	7.9	0.2
先天奇形、変形及び染色体異常	3.7	2.1	2.0	5.2	7.5	21.5	10.2	9.0	9.0	0.4
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8.1	1.0	13.8	13.6	8.8	14.8	8.5	20.9	19.4	1.7
損傷、中毒及びその他の外因の影響	4.6	▲ 2.9	7.3	3.8	▲ 4.1	4.4	▲ 1.4	▲ 3.6	▲ 2.6	2.7
特殊目的用コード	・	・	・	・	・	・	・	・	・	0.0
不詳	▲ 19.7	▲ 18.1	▲ 10.2	▲ 12.4	▲ 16.7	▲ 10.6	▲ 16.5	▲ 10.6	▲ 10.6	2.0

注.「・」は"算出できないもの（例：対前年同期比において前年同期の数値がないもの）"または"伸び率が1000%以上のもの"を表す。

：変動幅が10%を超える区分（特殊目的用コードは対象外）　　：上位5疾病分類



※影響度は（各疾病分類の医療費の増減分）÷（前期の医療費総数）×100 で算定

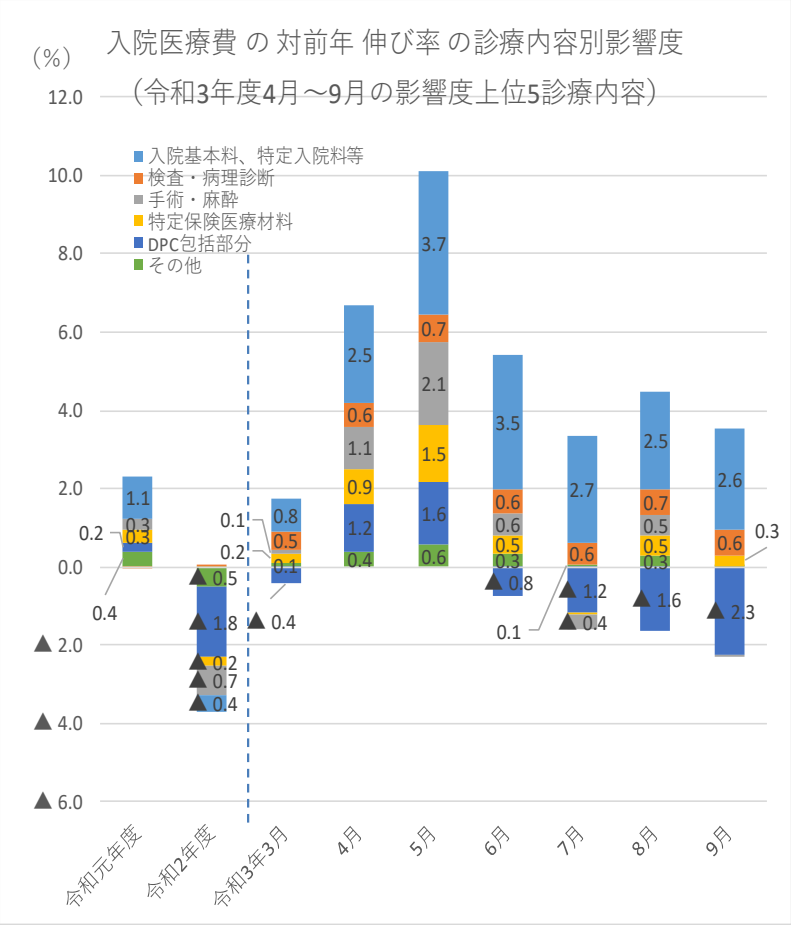
電子レセプトを用いた医科医療費の分析　令和3年度4月～9月　②-2 診療内容別 入院　（対前年）

○　入院医療費の伸び率について診療内容別に見ると、対前年では、9月はマイナスの診療内容もある中、「検査・病理診断」は51.3%と引き続き大きく増加している。
○　影響度で見ると、「入院基本料、特定入院料等」のプラスの影響が大宗を占めている。

■ 入院医療費 診療内容別 対前年 伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度		令和3年度						令和2年度医療費の構成割合
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総数	2.3	▲ 3.7	1.3	6.7	10.1	4.7	1.7	2.9	1.3	100.0
初診	0.6	▲ 10.5	2.7	15.9	11.6	9.1	13.0	2.1	3.7	0.1
医学管理	0.2	▲ 2.2	6.4	12.5	14.4	5.2	2.5	5.0	2.5	0.7
在宅	▲ 0.1	▲ 5.1	2.1	8.8	8.4	5.5	3.5	3.2	0.9	0.1
投薬	▲ 2.0	▲ 6.1	▲ 3.8	▲ 2.6	▲ 0.8	0.4	▲ 0.8	▲ 1.0	▲ 0.2	0.1
注射	▲ 3.1	▲ 7.1	▲ 1.1	▲ 0.8	1.1	1.9	2.9	1.4	1.5	0.2
処置	2.5	▲ 3.4	▲ 1.0	0.2	0.8	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 1.2	▲ 1.1	1.4
手術・麻酔	2.5	▲ 6.1	1.0	9.2	21.0	4.7	▲ 3.4	4.6	▲ 0.0	11.6
検査・病理診断	▲ 1.2	3.8	38.7	51.8	60.1	48.3	45.4	55.9	51.3	1.4
画像診断	▲ 0.8	▲ 4.9	5.3	4.3	4.7	2.1	1.1	2.9	3.8	0.5
リハビリテーション	2.6	3.3	5.1	2.4	1.3	1.0	▲ 0.3	1.9	▲ 0.2	5.5
精神科専門療法	1.9	3.1	6.1	3.2	0.9	0.1	▲ 2.6	1.8	▲ 1.1	0.6
放射線治療	3.0	▲ 2.7	4.0	▲ 5.3	3.0	▲ 3.3	▲ 9.6	▲ 1.1	▲ 5.1	0.3
入院基本料、特定入院料等	3.1	▲ 1.3	2.3	6.8	9.6	9.8	7.6	6.9	7.2	36.0
DPC包括部分	0.8	▲ 6.5	▲ 1.6	4.7	6.1	▲ 2.8	▲ 4.2	▲ 5.8	▲ 8.3	27.1
薬剤料	6.6	▲ 8.3	▲ 3.6	2.6	6.3	7.4	4.6	7.2	4.4	3.5
特定保険医療材料	5.2	▲ 3.6	3.6	14.0	26.5	7.1	▲ 0.8	8.1	4.5	6.4
入院時食事療養	0.1	▲ 5.7	▲ 3.8	0.6	2.4	▲ 0.4	▲ 1.6	▲ 2.2	▲ 3.3	3.6
生活療養食事療養	▲ 0.8	▲ 2.6	▲ 2.2	▲ 1.2	▲ 1.1	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 1.5	0.7
生活療養環境療養	▲ 0.2	▲ 2.7	▲ 2.1	▲ 1.0	▲ 0.7	0.1	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.6	0.2
その他	▲ 0.4	▲ 5.8	▲ 2.1	▲ 0.7	18.2	34.8	85.8	▲ 3.3	40.0	0.0

：変動幅が10%を超える区分　　：上位5診療内容



※影響度は（各疾病分類の医療費の増減分）÷（前期の医療費総数）×100 で算定

電子レセプトを用いた医科医療費の分析　令和3年度4月～9月　②-2 診療内容別 入院　（対前々年）

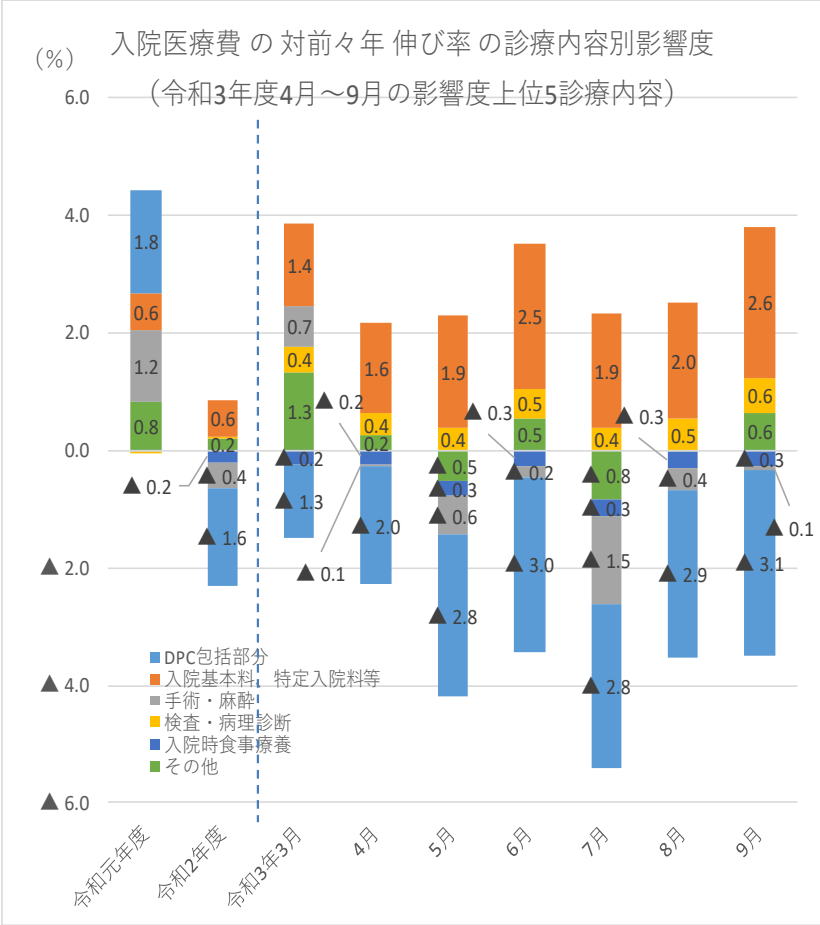
○　入院医療費の伸び率について診療内容別に見ると、対前々年では、9月は多くの診療内容がマイナスとなる一方で、「検査・病理診断」は47.2%と大きく増加している。

○　影響度で見ると、プラス方向には「入院基本料、特定入院料等」に次いで「検査・病理診断」が、マイナス方向には「DPC包括部分」の影響が大きい。

■ 入院医療費 診療内容別 対前々年 伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度							令和元年度医療費の構成割合
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総数	4.4	▲ 1.4	2.4	▲ 0.1	▲ 1.9	0.1	▲ 3.1	▲ 1.0	0.3	100.0
初診	2.5	▲ 10.0	▲ 4.1	▲ 9.9	▲ 8.9	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 6.8	▲ 5.1	0.1
医学管理	4.1	▲ 2.1	6.8	1.8	▲ 2.3	4.4	▲ 3.2	1.8	4.1	0.7
在宅	▲ 0.5	▲ 5.2	▲ 2.0	▲ 4.0	▲ 5.4	▲ 4.2	▲ 2.7	▲ 1.1	0.5	0.1
投薬	▲ 5.6	▲ 8.0	▲ 7.1	▲ 8.1	▲ 7.8	▲ 6.7	▲ 7.6	▲ 7.6	▲ 6.4	0.1
注射	▲ 9.3	▲ 10.0	▲ 5.4	▲ 8.9	▲ 8.4	▲ 5.4	▲ 6.9	▲ 8.3	▲ 5.7	0.2
処置	3.5	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 3.0	▲ 4.3	▲ 2.1	▲ 4.6	▲ 5.7	▲ 2.4	1.4
手術・麻酔	10.7	▲ 3.7	5.8	▲ 0.4	▲ 5.6	▲ 1.5	▲ 12.0	▲ 3.1	▲ 0.5	11.9
検査・病理診断	▲ 2.1	2.5	35.3	28.7	29.5	38.4	28.8	42.0	47.2	1.3
画像診断	▲ 6.2	▲ 5.7	3.5	▲ 6.4	▲ 9.0	1.1	▲ 8.1	▲ 4.2	1.3	0.5
リハビリテーション	4.9	6.0	10.2	5.1	1.0	7.7	1.2	3.3	6.7	5.1
精神科専門療法	8.0	5.1	12.5	4.4	▲ 3.0	10.2	▲ 3.2	3.0	5.8	0.5
放射線治療	18.9	0.2	10.2	▲ 3.2	▲ 9.4	0.1	▲ 15.9	▲ 4.8	▲ 4.2	0.3
入院基本料、特定入院料等	1.8	1.8	4.0	4.4	5.4	7.1	5.6	5.7	7.2	35.1
DPC包括部分	6.4	▲ 5.8	▲ 4.5	▲ 7.2	▲ 9.9	▲ 10.6	▲ 10.2	▲ 10.2	▲ 11.2	27.9
薬剤料	2.4	▲ 2.3	1.3	▲ 4.5	▲ 8.2	▲ 1.7	▲ 5.8	▲ 5.2	▲ 1.8	3.7
特定保険医療材料	6.2	1.3	10.6	4.2	▲ 0.5	2.9	▲ 6.7	2.2	6.5	6.4
入院時食事療養	▲ 0.4	▲ 5.7	▲ 6.1	▲ 6.1	▲ 7.0	▲ 7.5	▲ 7.2	▲ 7.2	▲ 7.5	3.7
生活療養食事療養	▲ 1.8	▲ 3.4	▲ 3.3	▲ 3.2	▲ 3.7	▲ 3.3	▲ 3.3	▲ 3.7	▲ 3.9	0.7
生活療養環境療養	▲ 0.3	▲ 2.9	▲ 2.9	▲ 2.8	▲ 3.1	▲ 2.8	▲ 2.8	▲ 3.0	▲ 3.2	0.2
その他	▲ 1.0	▲ 6.2	▲ 5.1	▲ 6.2	42.7	51.6	46.2	48.9	29.4	0.0

：変動幅が10%を超える区分　　：上位5診療内容



※影響度は（各疾病分類の医療費の増減分）÷（前期の医療費総数）×100で算定

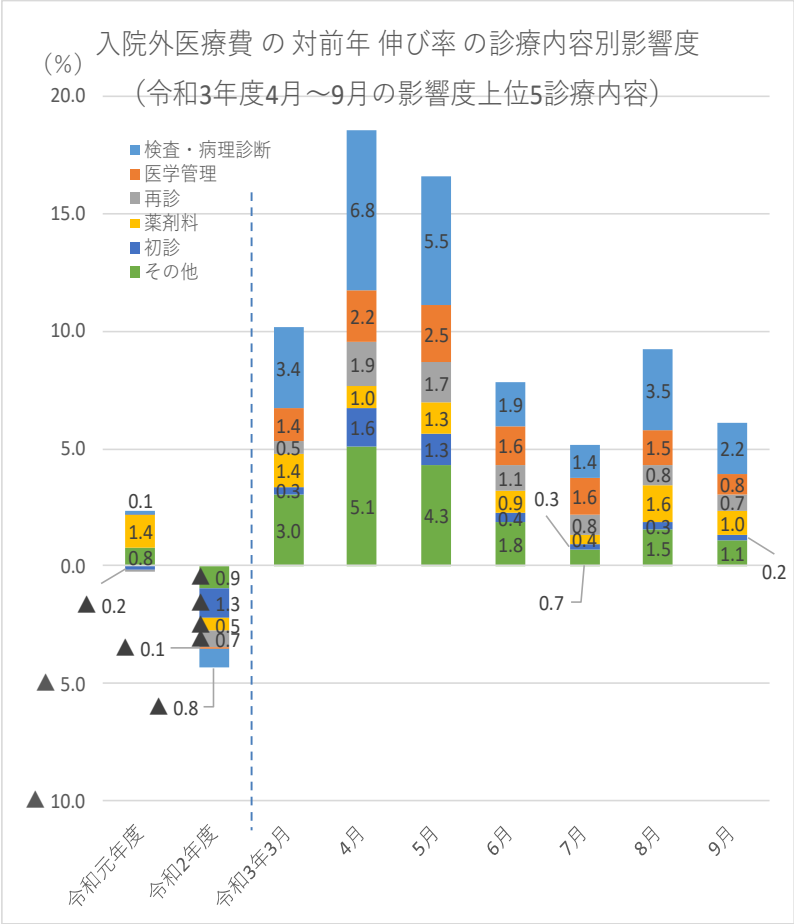
電子レセプトを用いた医科医療費の分析　令和3年度4月～9月　②-2 診療内容別 入院外　（対前年）

○　入院外医療費の伸び率について診療内容別に見ると、9月は対前年では、多くの診療内容がプラスとなり、引き続き、「検査・病理診断」は10%を超える増加となった。
○　影響度で見ると、9月も「検査・病理診断」「医学管理」のプラスの影響で半分程度を占める。

■ 入院外医療費 診療内容別 対前年 伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度							令和2年度医療費の構成割合
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総数	2.2	▲ 4.3	10.1	18.6	16.6	7.9	5.1	9.2	6.1	100.0
初診	▲ 3.0	▲ 24.2	7.2	45.9	33.9	9.7	5.8	7.7	4.8	4.3
再診	▲ 0.2	▲ 8.0	5.8	21.6	20.6	13.7	10.1	9.9	8.5	8.3
医学管理	0.3	▲ 1.0	17.8	25.6	29.7	19.6	19.2	17.5	10.0	8.6
在宅	5.0	7.3	10.1	10.1	9.2	7.3	6.3	8.4	7.8	6.8
投薬	▲ 4.5	▲ 8.0	3.1	4.0	4.8	0.1	▲ 1.7	▲ 1.0	▲ 2.1	1.1
注射	▲ 0.8	▲ 6.5	7.9	12.9	5.4	▲ 0.5	▲ 1.2	▲ 0.5	▲ 1.3	0.7
処置	1.7	▲ 3.3	3.8	5.1	2.8	1.1	▲ 0.4	▲ 0.1	0.2	8.8
手術・麻酔	4.8	▲ 3.6	11.2	20.6	27.0	9.2	0.6	7.5	3.9	2.8
検査・病理診断	0.8	▲ 4.4	19.1	42.2	32.3	10.2	7.4	18.8	11.8	18.4
画像診断	1.2	▲ 5.6	14.0	29.8	18.6	3.7	▲ 0.9	3.2	1.4	6.8
処方箋料	0.6	▲ 7.5	4.8	10.7	11.6	6.2	3.4	4.6	3.6	4.7
リハビリテーション	1.4	▲ 2.9	15.1	35.6	30.3	14.7	8.4	9.2	6.3	1.5
精神科専門療法	1.3	▲ 4.1	6.6	13.0	10.4	5.3	2.9	3.9	1.9	2.3
放射線治療	8.7	3.5	2.2	▲ 2.4	11.9	7.0	▲ 2.1	10.5	6.9	0.6
薬剤料	6.5	▲ 2.3	5.8	3.8	5.4	4.0	1.7	7.0	4.5	23.1
特定保険医療材料	5.0	3.1	8.5	6.2	5.1	3.7	2.8	4.4	4.2	1.1
その他	8.6	▲ 0.6	17.2	14.0	45.3	14.4	▲ 3.1	12.8	9.9	0.0

：変動幅が10%を超える区分　　：上位5診療内容



※影響度は（各疾病分類の医療費の増減分）÷（前期の医療費総数）×100で算定

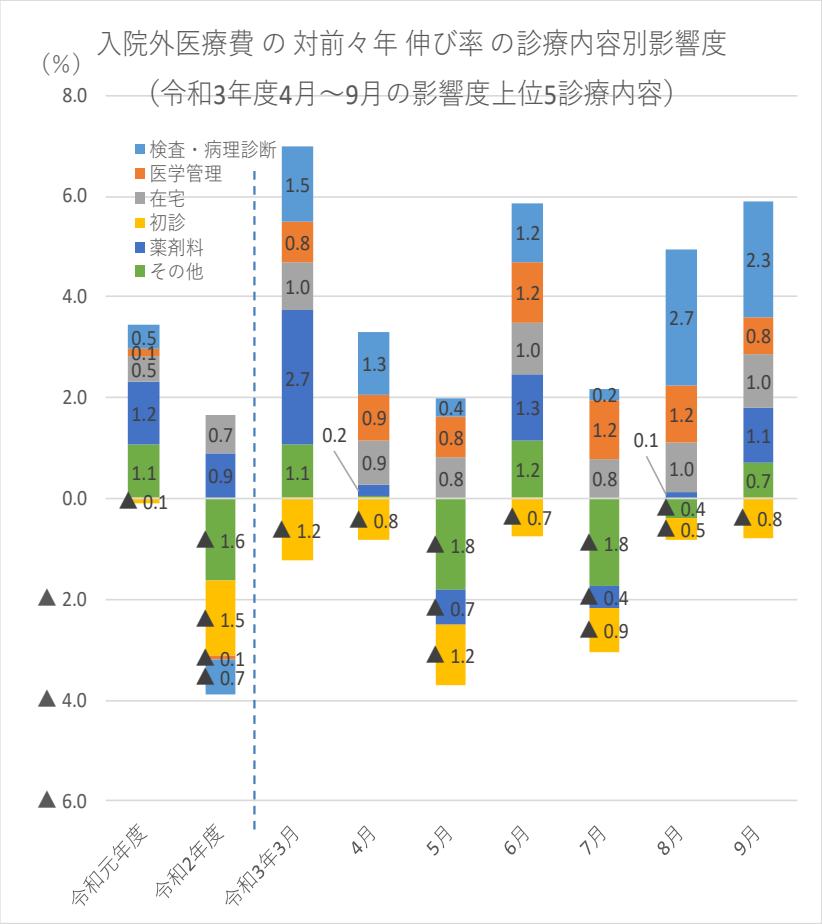
電子レセプトを用いた医科医療費の分析　令和３年度４月～9月　②-2 診療内容別 入院外　（対前々年）

○　入院外医療費の伸び率について診療内容別に見ると、対前々年では、9月は多くの診療内容でプラスとなり、「在宅」「検査・病理診断」などが10%を超える大きな増加となった。
○　影響度で見ると、「検査・病理診断」のプラスの影響が2.3%と大きい。

■ 入院外医療費 診療内容別 対前々年 伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度		令和3年度						令和元年度医療費の構成割合
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総数	3.3	▲ 2.2	5.7	2.5	▲ 1.7	5.1	▲ 0.9	4.1	5.1	100.0
初診	▲ 1.7	▲ 26.4	▲ 20.6	▲ 16.1	▲ 21.5	▲ 13.5	▲ 16.7	▲ 9.1	▲ 14.9	5.4
再診	▲ 0.6	▲ 8.2	▲ 1.3	1.1	▲ 0.5	5.2	▲ 1.1	1.6	3.0	8.7
医学管理	1.5	▲ 0.7	9.9	10.4	9.6	14.6	13.9	14.0	9.0	8.3
在宅	9.1	12.6	16.7	14.8	13.6	17.1	13.7	15.9	17.0	6.1
投薬	▲ 7.8	▲ 12.1	▲ 8.7	▲ 9.8	▲ 10.9	▲ 5.4	▲ 9.5	▲ 7.3	▲ 7.2	1.2
注射	▲ 1.1	▲ 7.3	3.2	▲ 3.1	▲ 10.2	▲ 2.6	▲ 10.2	▲ 8.9	▲ 3.7	0.7
処置	2.6	▲ 1.6	1.8	▲ 2.2	▲ 6.3	1.8	▲ 3.4	▲ 4.4	0.2	8.7
手術・麻酔	9.5	1.0	13.9	7.7	▲ 2.5	5.0	▲ 9.5	4.1	3.9	2.8
検査・病理診断	2.6	▲ 3.7	7.7	6.8	2.1	6.2	1.1	14.9	12.3	18.4
画像診断	3.7	▲ 4.5	5.6	0.3	▲ 9.1	0.1	▲ 8.4	▲ 2.5	1.8	6.9
処方箋料	3.7	▲ 6.9	▲ 3.0	▲ 4.1	▲ 5.9	0.1	▲ 5.0	▲ 2.0	▲ 1.6	4.8
リハビリテーション	5.3	▲ 1.6	9.5	9.6	2.4	10.5	0.0	5.1	7.9	1.5
精神科専門療法	2.5	▲ 2.9	4.9	▲ 0.6	▲ 5.2	3.7	▲ 4.1	▲ 1.7	1.7	2.3
放射線治療	21.8	12.5	17.9	8.4	7.0	18.3	▲ 3.0	16.1	20.9	0.6
薬剤料	5.6	4.1	12.3	1.1	▲ 3.1	5.9	▲ 1.9	0.5	4.8	22.7
特定保険医療材料	7.0	8.2	12.7	7.3	3.2	12.8	5.6	5.3	10.5	1.0
その他	15.9	7.9	18.2	10.2	10.8	13.1	▲ 8.9	18.7	16.7	0.0

：変動幅が10%を超える区分　　：上位5診療内容



※影響度は（各疾病分類の医療費の増減分）÷（前期の医療費総数）×100で算定

電子レセプトを用いた調剤医療費の分析
＜令和3年度4月～9月＞

レセプト電算処理システムにより処理された調剤報酬明細書（電子レセプト）を用いて集計、調剤医療費の動向について詳細を分析。

○　薬剤料について、9月は、対前年では、処方箋枚数のプラスが処方箋1枚当たり薬剤料のマイナスを上回りプラスとなり、対前々年では処方箋枚数のマイナスを処方箋1枚当たり薬剤料のプラスが上回りプラスとなった。

○　薬剤料の伸び率を薬効分類別に見ると、引き続き、「その他の代謝性医薬品」「腫瘍用薬」のプラス、「中枢神経系用薬」「循環器官用薬」のマイナスの影響が大きい。

○　後発医薬品割合（数量ベース）は令和3年9月時点で 81.6% 。

電子レセプトを用いた調剤医療費の分析　令和３年度４月～9月　① 調剤医療費・薬剤料の伸び率の推移

○ 9月の調剤医療費（電算処理分）の伸び率を見ると、対前年は3.9%、対前々年は2.1%と増加となっており、内訳を見ると、対前年、対前々年ともに技術料・薬剤料ともプラスとなっている。

○ 9月の薬剤料について、対前年は処方箋枚数のプラスが、処方箋1枚当たり薬剤料のマイナスを上回りプラスになった一方、対前々年では処方箋枚数のマイナスを、処方箋1枚当たり薬剤料のプラスが上回りプラスとなっている。

■ 調剤医療費（電算処理分） の 対前年 伸び率 影響度（%）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
調剤医療費（電算処理分）	3.7	-2.6	4.6	0.5	5.5	3.7	1.6	4.7	3.9
技術料	0.6	-1.3	1.8	3.3	3.9	2.8	2.1	2.2	1.7
薬剤料	3.1	-1.4	2.8	-2.8	1.6	0.9	-0.5	2.5	2.1

■ 調剤医療費（電算処理分） の 対前々年 伸び率 影響度（%）

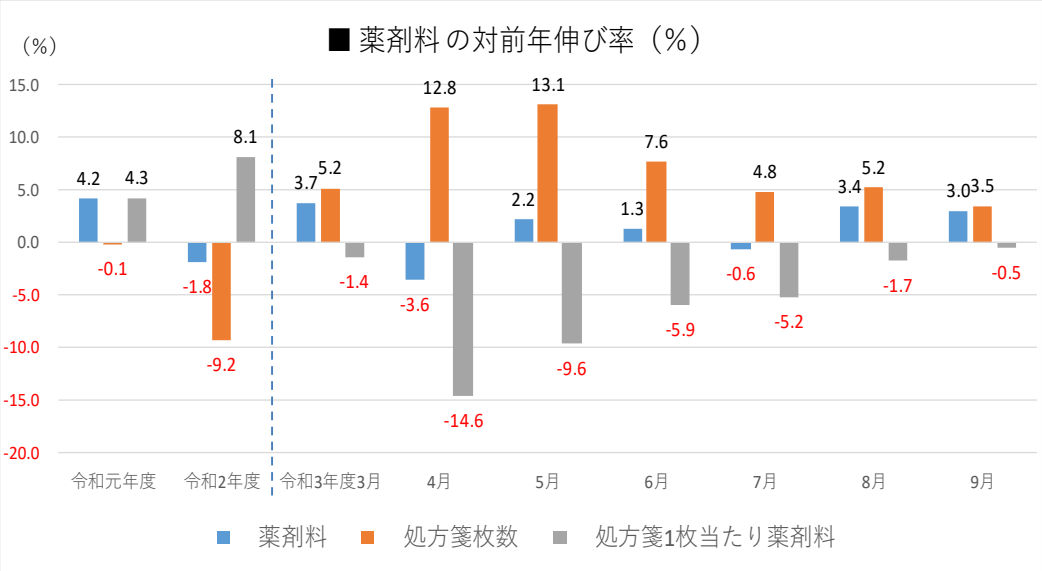
	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
調剤医療費（電算処理分）	0.5	1.0	5.3	-2.4	-3.8	3.8	-2.1	-0.8	2.1
技術料	0.8	-0.7	0.4	0.3	-0.1	1.9	0.6	1.0	1.2
薬剤料	-0.4	1.6	4.9	-2.8	-3.8	1.9	-2.8	-1.9	1.0

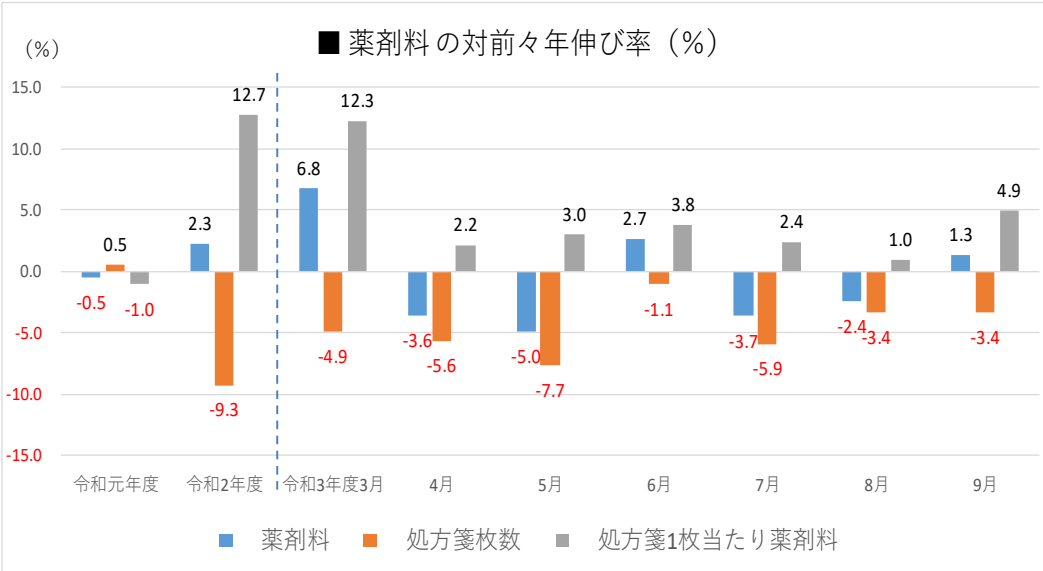
■ 薬剤料 の対前年伸び率（%）

薬剤料	4.2	-1.8	3.7	-3.6	2.2	1.3	-0.6	3.4	3.0
処方箋枚数	-0.1	-9.2	5.2	12.8	13.1	7.6	4.8	5.2	3.5
処方箋1枚当たり薬剤料	4.3	8.1	-1.4	-14.6	-9.6	-5.9	-5.2	-1.7	-0.5

■ 薬剤料 の対前々年伸び率（%）

薬剤料	-0.5	2.3	6.8	-3.6	-5.0	2.7	-3.7	-2.4	1.3
処方箋枚数	0.5	-9.3	-4.9	-5.6	-7.7	-1.1	-5.9	-3.4	-3.4
処方箋1枚当たり薬剤料	-1.0	12.7	12.3	2.2	3.0	3.8	2.4	1.0	4.9



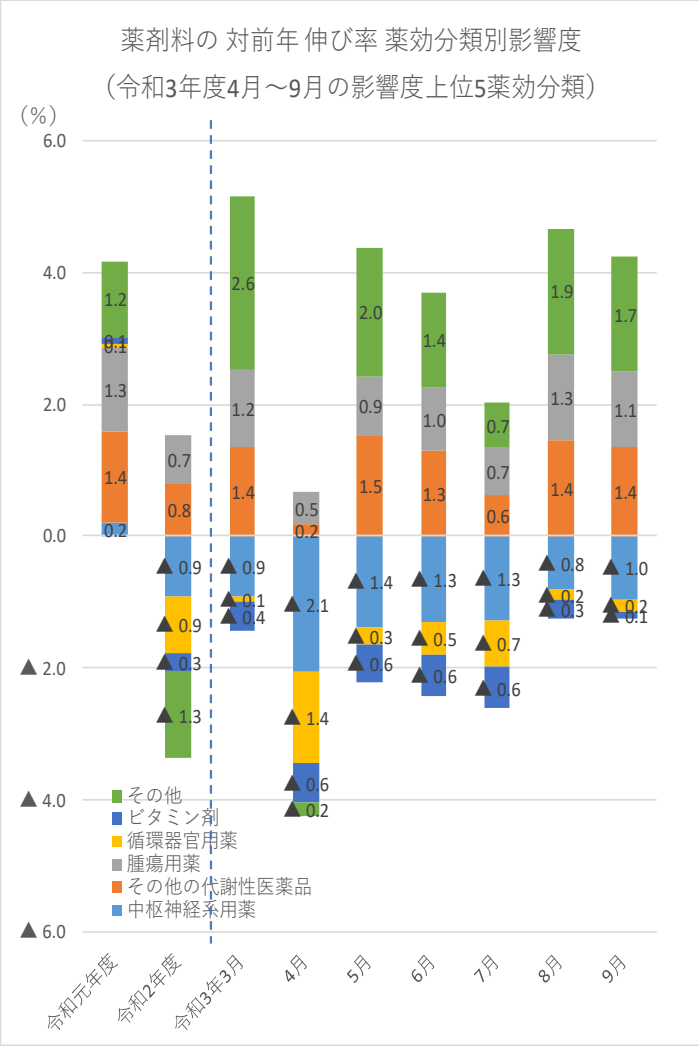


電子レセプトを用いた調剤医療費の分析　令和3年度4月～9月　② 薬効分類別 薬剤料（対前年）

○　9月の薬剤料の対前年伸び率を薬効分類別に見ると、多くがプラスとなっているが、「ビタミン剤」は依然減少している。
○　対前年伸び率への影響としては、「その他の代謝性医薬品」「腫瘍用薬」 のプラスの影響が大きい。

■ 薬剤料の薬効分類別 対前年 伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度						令和2年度薬剤料の構成割合※
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総数	4.2	▲ 1.8	3.7	▲ 3.6	2.2	1.3	▲ 0.6	3.4	3.0	100.0
中枢神経系用薬	1.4	▲ 6.2	▲ 6.4	▲ 13.9	▲ 9.2	▲ 8.8	▲ 8.7	▲ 5.6	▲ 6.6	14.1
感覚器官用薬	▲ 2.0	1.0	24.3	7.5	0.3	▲ 0.8	▲ 2.8	▲ 2.9	▲ 1.4	4.1
循環器官用薬	0.4	▲ 5.7	▲ 0.6	▲ 9.3	▲ 1.8	▲ 3.3	▲ 5.0	▲ 1.1	▲ 1.3	14.5
呼吸器官用薬	3.1	▲ 17.8	▲ 13.5	▲ 10.7	4.4	3.3	▲ 0.1	5.5	3.6	2.9
消化器官用薬	6.4	2.8	8.4	▲ 0.5	5.8	3.6	▲ 0.1	3.9	3.0	7.8
ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	8.7	2.6	3.2	▲ 5.4	1.6	2.9	4.3	6.5	7.6	4.5
泌尿生殖器官および肛門用薬	▲ 3.7	▲ 5.0	▲ 0.2	▲ 9.0	▲ 5.6	▲ 7.3	▲ 9.3	▲ 5.5	▲ 6.4	2.3
外皮用薬	1.3	▲ 1.1	7.1	6.4	2.8	▲ 1.3	▲ 1.7	▲ 2.5	▲ 0.5	3.2
ビタミン剤	5.2	▲ 16.3	▲ 25.1	▲ 32.6	▲ 30.8	▲ 32.7	▲ 33.3	▲ 17.5	▲ 8.0	1.5
滋養強壮薬	4.7	5.4	8.9	1.1	5.8	6.0	3.7	8.7	5.8	1.0
血液・体液用薬	6.0	▲ 3.4	0.9	▲ 0.5	5.0	3.5	0.2	3.6	3.3	7.2
その他の代謝性医薬品	9.8	5.4	9.2	1.1	9.9	8.2	3.8	9.0	8.4	15.9
腫瘍用薬	19.5	9.8	15.2	6.2	10.7	11.9	8.7	15.8	13.2	8.4
アレルギー用薬	2.7	▲ 5.3	8.7	▲ 2.0	0.2	3.3	6.2	7.3	9.4	3.8
漢方製剤	5.4	3.1	9.8	6.4	13.5	10.4	7.4	8.6	8.8	2.3
抗生物質製剤	▲ 6.4	▲ 27.3	▲ 8.1	▲ 0.2	13.8	4.7	▲ 2.5	3.2	▲ 0.6	0.7
化学療法剤	▲ 15.7	▲ 18.9	▲ 8.2	▲ 9.4	▲ 2.8	▲ 3.6	▲ 5.5	2.0	▲ 1.2	3.2
生物学的製剤	29.3	8.4	8.0	3.3	11.4	13.7	13.7	12.8	11.8	1.3



：変動幅が10%を超える薬効分類　　：上位5薬効分類

※影響度は（各薬効分類の薬剤料の増減分）÷（前期の薬剤料総数）×100 で算定

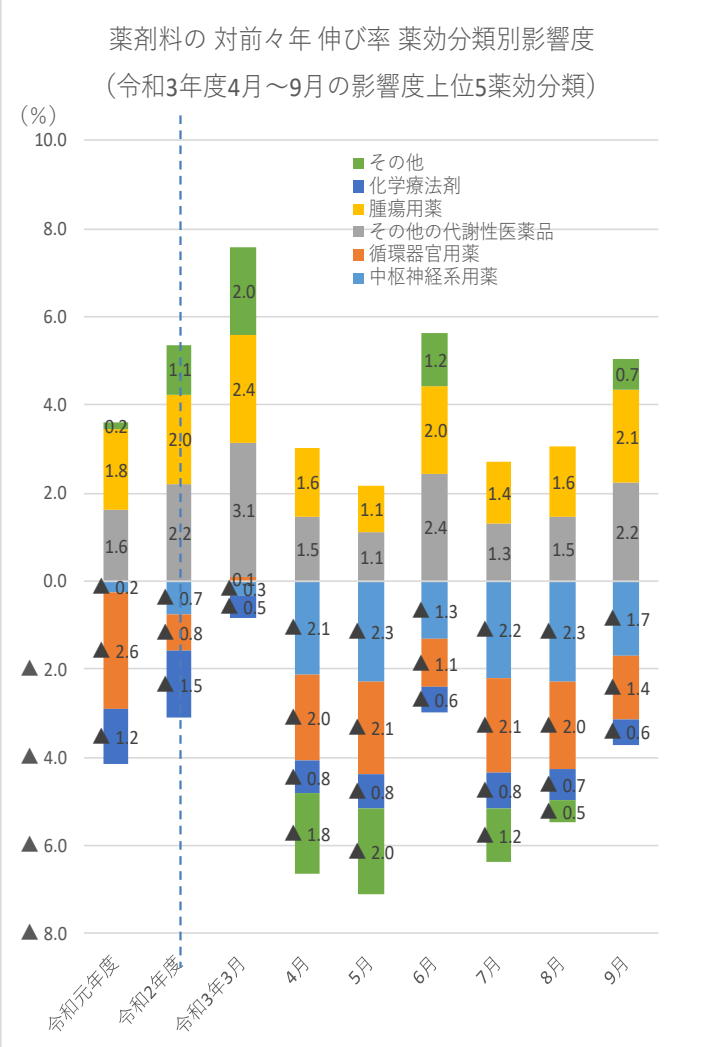
電子レセプトを用いた調剤医療費の分析　令和3年度4月～9月　② 薬効分類別 薬剤料（対前々年）

○　9月の薬剤料の対前々年伸び率を薬効分類別に見ると、「抗生物質製剤」や「ビタミン剤」など大きく減少している薬効分類もある中、「腫瘍用薬」や「生物学的製剤」などは大きく増加している。

○　対前々年伸び率への影響としては、「その他の代謝性医薬品」「腫瘍用薬」 がプラスに影響している一方、「中枢神経系用薬」「循環器官用薬」などのマイナスの影響が大きい。

■ 薬剤料の薬効分類別 対前々年 伸び率（%）

	令和元年度	令和2年度		令和3年度						令和元年度 薬剤料の構成割合※
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総数	▲ 0.5	2.3	6.8	▲ 3.6	▲ 5.0	2.7	▲ 3.7	▲ 2.4	1.3	100.0
中枢神経系用薬	▲ 1.7	▲ 4.9	▲ 2.3	▲ 14.3	▲ 15.2	▲ 8.7	▲ 14.5	▲ 14.9	▲ 11.3	14.8
感覚器官用薬	▲ 4.3	▲ 1.1	▲ 3.4	▲ 8.0	▲ 9.0	▲ 0.6	▲ 7.0	▲ 5.6	▲ 2.8	3.9
循環器官用薬	▲ 15.0	▲ 5.3	0.6	▲ 12.6	▲ 13.6	▲ 7.1	▲ 13.7	▲ 12.8	▲ 9.1	15.0
呼吸器官用薬	2.5	▲ 15.3	▲ 13.7	▲ 20.4	▲ 20.4	▲ 15.2	▲ 17.5	▲ 12.9	▲ 13.5	3.4
消化器官用薬	▲ 0.2	9.4	15.2	2.3	0.3	7.7	0.8	2.2	6.5	7.4
ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	9.0	11.6	17.7	6.4	4.8	10.9	3.9	5.8	9.9	4.3
泌尿生殖器官および肛門用薬	▲ 8.3	▲ 8.6	▲ 3.7	▲ 13.9	▲ 16.0	▲ 8.6	▲ 16.4	▲ 15.7	▲ 11.9	2.3
外皮用薬	▲ 5.6	0.1	7.2	▲ 2.3	▲ 6.5	▲ 0.3	▲ 6.3	▲ 5.1	▲ 3.5	3.1
ビタミン剤	4.5	▲ 12.0	▲ 20.7	▲ 31.9	▲ 33.3	▲ 28.7	▲ 32.7	▲ 32.9	▲ 28.2	1.8
滋養強壮薬	2.5	10.3	18.9	8.0	6.6	15.5	7.9	9.7	15.1	1.0
血液・体液用薬	2.5	2.4	7.1	▲ 3.4	▲ 6.3	1.8	▲ 5.3	▲ 4.1	▲ 0.4	7.3
その他の代謝性医薬品	12.4	15.7	22.6	10.2	7.5	16.5	8.7	9.8	15.0	14.8
腫瘍用薬	32.4	31.2	36.9	22.4	14.2	27.0	19.0	20.7	28.0	7.5
アレルギー用薬	▲ 9.9	▲ 2.8	▲ 12.3	▲ 19.3	▲ 10.9	▲ 1.5	▲ 2.5	▲ 0.1	▲ 1.1	3.9
漢方製剤	6.7	8.7	13.1	8.4	9.2	16.0	9.4	10.8	14.7	2.2
抗生物質製剤	▲ 21.4	▲ 32.0	▲ 27.7	▲ 33.2	▲ 34.5	▲ 29.2	▲ 29.0	▲ 23.9	▲ 26.4	1.0
化学療法剤	▲ 24.1	▲ 31.7	▲ 13.1	▲ 20.4	▲ 20.6	▲ 14.4	▲ 21.6	▲ 18.1	▲ 15.4	3.9
生物学的製剤	50.0	40.3	51.1	34.8	23.5	29.6	20.8	21.8	25.4	1.1

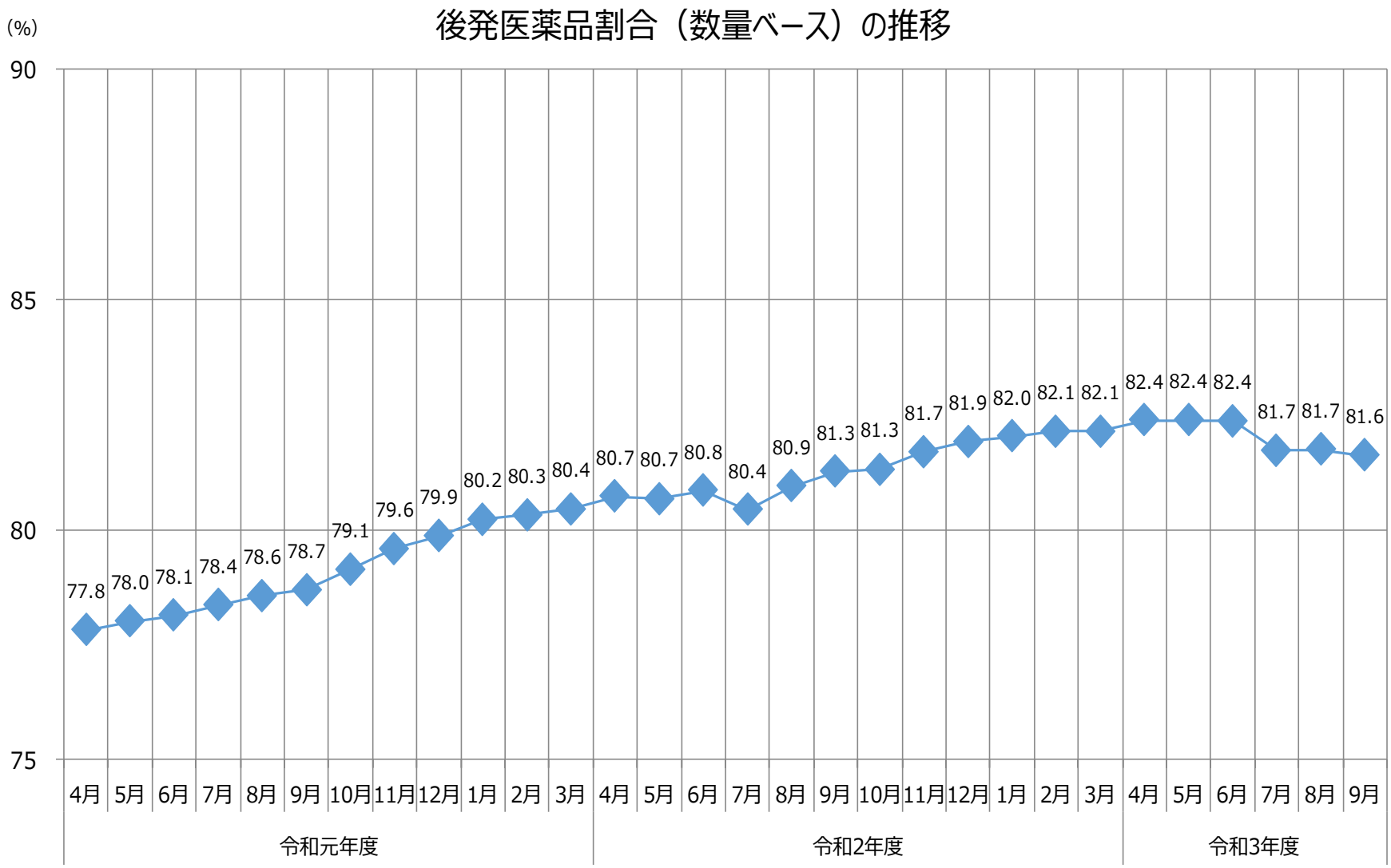


：変動幅が10%を超える薬効分類　　：上位5薬効分類

※影響度は（各薬効分類の薬剤料の増減分）÷（前期の薬剤料総数）×100 で算定

電子レセプトを用いた調剤医療費の分析　令和3年度4月～9月　③後発医薬品割合（数量ベース）の推移

○　後発医薬品割合（数量ベース、新指標）は、令和3年9月時点で81.6%。
○　令和3年6月から7月にかけて下がっているが、後発医薬品の収載により「後発医薬品のある先発医薬品」が増えたことが要因と考えられる。



注1）　「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注2）　「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

電子レセプトを用いた調剤医療費の分析　令和３年度４月～9月　④都道府県別の後発医薬品割合（数量ベース）

○　後発医薬品割合（数量ベース、新指標）を都道府県別に見ると、令和3年9月時点では沖縄県が89.0%で最も大きく、徳島県が77.9%で最も小さい。

○　前年度末からの差異を見ると、山梨県が0.1%で最大、石川県が▲1.2%で最小となった。

（単位：%）

	令和2年度 3月	令和3年度 9月	差異
総数	82.1	81.6	▲ 0.5
北海道	83.5	83.2	▲ 0.3
青森県	82.3	81.7	▲ 0.6
岩手県	86.7	86.1	▲ 0.6
宮城県	84.8	84.1	▲ 0.7
秋田県	83.3	82.6	▲ 0.7
山形県	85.7	85.1	▲ 0.6
福島県	83.5	82.7	▲ 0.7
茨城県	81.8	81.4	▲ 0.4
栃木県	84.2	83.4	▲ 0.7
群馬県	84.8	84.5	▲ 0.3
埼玉県	82.9	82.3	▲ 0.6
千葉県	82.5	82.0	▲ 0.5
東京都	78.4	78.0	▲ 0.3
神奈川県	80.4	79.9	▲ 0.5
新潟県	84.2	83.5	▲ 0.7
富山県	84.1	83.1	▲ 1.0
石川県	83.0	81.8	▲ 1.2
福井県	84.1	83.1	▲ 1.0
山梨県	81.7	81.8	0.1
長野県	84.6	83.9	▲ 0.7
岐阜県	81.2	80.5	▲ 0.6
静岡県	83.5	82.7	▲ 0.8
愛知県	82.8	82.3	▲ 0.5
三重県	82.7	81.9	▲ 0.8

：上位5県
：下位5県

（単位：%）

	令和2年度 3月	令和3年度 9月	差異
滋賀県	82.7	81.8	▲ 0.9
京都府	79.9	79.3	▲ 0.7
大阪府	79.8	79.4	▲ 0.5
兵庫県	81.3	80.6	▲ 0.7
奈良県	79.4	78.8	▲ 0.6
和歌山県	80.4	79.6	▲ 0.8
鳥取県	85.1	84.4	▲ 0.7
島根県	85.8	85.0	▲ 0.7
岡山県	83.4	83.1	▲ 0.3
広島県	80.3	79.7	▲ 0.6
山口県	84.3	83.6	▲ 0.7
徳島県	78.4	77.9	▲ 0.5
香川県	80.0	79.5	▲ 0.5
愛媛県	83.1	82.7	▲ 0.4
高知県	79.2	79.1	▲ 0.0
福岡県	83.0	82.4	▲ 0.6
佐賀県	84.2	83.7	▲ 0.6
長崎県	83.4	82.9	▲ 0.5
熊本県	84.9	84.4	▲ 0.5
大分県	82.9	82.3	▲ 0.6
宮崎県	85.8	85.3	▲ 0.5
鹿児島県	87.4	86.6	▲ 0.8
沖縄県	89.5	89.0	▲ 0.6

最大	89.5（沖縄県）	89.0（沖縄県）	0.1（山梨県）
最小	78.4（徳島県）	77.9（徳島県）	▲ 1.2（石川県）

注1）　「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注2）　「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。